

調 査 集 計

「福島県における子育て・子育て支援に関わるアンケート調査」

①市町村行政(アンケート回答数:42か所、回答率:70%)

問2 市町村が行なっている事業

	選択肢	b/a		b/a	
		都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1	A 子育て中の保護者が集い、交流を深めるような取り組み	9	100%	28	84.8%
2	B 子育てに関する悩みを受け止める電話相談	9	100%	27	81.8%
3	C 電話相談以外で子育てに関する悩みを受け止める相談援助サービス	9	100%	25	75.8%
4	D 地域との交流がなされるような取り組み(三世代交流など)	7	77.8%	14	42.4%
5	E 子育てに不安や問題を抱える家庭を保健師や助産師などが訪問してサポートするような取り組み(育児支援家庭訪問事業など)	8	88.9%	26	78.8%
6	F ファミリー・サポート	7	77.8%	3	9.1%
7	G 一時保育	9	100%	12	36.4%
8	H 子育てボランティアを養成する取り組み	5	55.6%	7	21.2%
9	I 子育てボランティアをサポートする取り組み	6	66.7%	5	15.2%
10	J 子育て中の保護者を対象にした講座(家庭学級など)	8	88.9%	21	63.6%
11	K 男性の育児参加促進のための取り組み(父親学級、企業への訪問活動など)	6	66.7%	6	18.2%
12	L 親子を対象としたサービス(親子学級、親子活動など)	6	66.7%	19	57.6%
13	M 障がい児を持つ親を支援する取り組み	6	66.7%	18	54.5%
	回答市町村数 a	9	100%	33	100%

問4-1 子育て支援にかかる事業として、必要性はありながらも取り組めていない事業(△)

	選択肢	b/a		b/a	
		都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1	A 子育て中の保護者が集い、交流を深めるような取り組み	0	0%	1	3.0%
2	B 子育てに関する悩みを受け止める電話相談	0	0%	2	6.1%
3	C 電話相談以外で子育てに関する悩みを受け止める相談援助サービス	0	0%	3	9.1%
4	D 地域との交流がなされるような取り組み(三世代交流など)	0	0%	3	9.1%
5	E 子育てに不安や問題を抱える家庭を保健師や助産師などが訪問してサポートするような取り組み(育児支援家庭訪問事業など)	1	11.1%	2	6.1%
6	F ファミリー・サポート	1	11.1%	12	36.4%
7	G 一時保育	0	0%	13	39.4%
8	H 子育てボランティアを養成する取り組み	1	11.1%	12	36.4%
9	I 子育てボランティアをサポートする取り組み	0	0%	8	24.2%
10	J 子育て中の保護者を対象にした講座(家庭学級など)	0	0%	4	12.1%
11	K 男性の育児参加促進のための取り組み(父親学級、企業への啓蒙活動など)	0	0%	12	36.4%
12	L 親子を対象としたサービス(親子学級など)	0	0%	3	9.1%
13	M 障がい児を持つ親を支援する取り組み(障がい児を持つ親の会など)	0	0%	7	21.2%
	回答市町村数 a	9	100%	33	100%

問4-2 子育て支援にかかる事業として、特に必要はないと思われる事業(×)

	選択肢	b/a		b/a	
		都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1	A 子育て中の保護者が集い、交流を深めるような取り組み	0	0%	0	0%
2	B 子育てに関する悩みを受け止める電話相談	0	0%	1	3.0%
3	C 電話相談以外で子育てに関する悩みを受け止める相談援助サービス	0	0%	1	3.0%
4	D 地域との交流がなされるような取り組み(三世代交流など)	1	11.1%	2	6.1%
5	E 子育てに不安や問題を抱える家庭を保健師や助産師などが訪問してサポートするような取り組み(育児支援家庭訪問事業など)	0	0%	0	0%
6	F ファミリー・サポート	0	0%	4	12.1%
7	G 一時保育	0	0%	2	6.1%
8	H 子育てボランティアを養成する取り組み	2	22.2%	4	12.1%
9	I 子育てボランティアをサポートする取り組み	2	22.2%	2	6.1%
10	J 子育て中の保護者を対象にした講座(家庭学級など)	0	0%	2	6.1%
11	K 男性の育児参加促進のための取り組み(父親学級、企業への啓蒙活動など)	1	11.1%	4	12.1%
12	L 親子を対象としたサービス(親子学級など)	2	22.2%	3	9.1%
13	M 障がい児を持つ親を支援する取り組み(障がい児を持つ親の会など)	2	22.2%	4	12.1%
	回答市町村数 a	9	100%	33	100%

「福島県における子育て・子育て支援に関わるアンケート調査」
 ②市町村社会福祉協議会（アンケート回答数：44か所、回答率：73.3%）

問1 社協で行なっている事業

	選択肢	b/a		b/a	
		都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1	A 子育て中の保護者が集い、交流を深めるような取り組み	7	77.8%	9	25.7%
2	B 子育てに関する悩みを受け止める電話相談	2	22.2%	6	17.1%
3	C 電話相談以外で子育てに関する悩みを受け止める相談援助サービス	3	33.3%	6	17.1%
4	D 地域との交流がなされるような取り組み(三世代交流など)	6	66.7%	13	37.1%
5	E 子育てに不安や問題を抱える家庭を保健師や助産師などが訪問してサポートするような取り組み(育児支援家庭訪問事業など)	1	11.1%	0	0%
6	F ファミリー・サポート	7	77.8%	6	17.1%
7	G 一時保育	2	22.2%	3	8.6%
8	H 子育てボランティアを養成する取り組み	6	66.7%	6	17.1%
9	I 子育てボランティアをサポートする取り組み	3	33.3%	5	14.3%
10	J 子育て中の保護者を対象にした講座(家庭学級など)	4	44.4%	4	11.4%
11	K 男性の育児参加促進のための取り組み(父親学級、企業への訪問活動など)	0	0%	0	0%
12	L 親子を対象としたサービス(親子学級、親子活動など)	3	33.3%	1	2.9%
13	M 障がい児を持つ親を支援する取り組み(障がい児を持つ親の会など)	2	22.2%	9	25.7%
	回答市町村社協数 a	9	100%	35	100%

問1 社協以外で行なっている事業

	選択肢	b/a		b/a	
		都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1	A 子育て中の保護者が集い、交流を深めるような取り組み	6	66.7%	8	22.9%
2	B 子育てに関する悩みを受け止める電話相談	1	11.1%	2	5.7%
3	C 電話相談以外で子育てに関する悩みを受け止める相談援助サービス	2	22.2%	3	8.6%
4	D 地域との交流がなされるような取り組み(三世代交流など)	2	22.2%	4	11.4%
5	E 子育てに不安や問題を抱える家庭を保健師や助産師などが訪問してサポートするような取り組み(育児支援家庭訪問事業など)	1	11.1%	0	0%
6	F ファミリー・サポート	6	66.7%	5	14.3%
7	G 一時保育	2	22.2%	3	8.6%
8	H 子育てボランティアを養成する取り組み	2	22.2%	2	5.7%
9	I 子育てボランティアをサポートする取り組み	2	22.2%	1	2.9%
10	J 子育て中の保護者を対象にした講座(家庭学級など)	4	44.4%	2	5.7%
11	K 男性の育児参加促進のための取り組み(父親学級、企業への訪問活動など)	0	0%	0	0%
12	L 親子を対象としたサービス(親子学級、親子活動など)	3	33.3%	0	0%
13	M 障がい児を持つ親を支援する取り組み(障がい児を持つ親の会など)	2	22.2%	5	14.3%
	回答市町村社協数 a	9	100%	35	100%

問3-1 子育て支援にかかる事業として、必要性はありながらも取り組めていない事業(△)

	選択肢	b/a		b/a	
		都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1	A 子育て中の保護者が集い、交流を深めるような取り組み	0	0%	6	17.1%
2	B 子育てに関する悩みを受け止める電話相談	0	0%	6	17.1%
3	C 電話相談以外で子育てに関する悩みを受け止める相談援助サービス	0	0%	7	20.0%
4	D 地域との交流がなされるような取り組み(三世代交流など)	0	0%	5	14.3%
5	E 子育てに不安や問題を抱える家庭を保健師や助産師などが訪問してサポートするような取り組み(育児支援家庭訪問事業など)	0	0%	3	8.6%
6	F ファミリー・サポート	0	0%	9	25.7%
7	G 一時保育	0	0%	4	11.4%
8	H 子育てボランティアを養成する取り組み	0	0%	13	37.1%
9	I 子育てボランティアをサポートする取り組み	0	0%	10	28.6%
10	J 子育て中の保護者を対象にした講座(家庭学級など)	0	0%	6	17.1%
11	K 男性の育児参加促進のための取り組み(父親学級、企業への啓蒙活動など)	1	11.1%	8	22.9%
12	L 親子を対象としたサービス(親子学級など)	0	0%	3	8.6%
13	M 障がい児を持つ親を支援する取り組み(障がい児を持つ親の会など)	1	11.1%	7	20.0%
	回答市町村社協数 a	9	100%	35	100.0%

問3-2 子育て支援にかかる事業として、特に必要はないと思われる事業

	選択肢	b/a		b/a	
		都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1	A 子育て中の保護者が集い、交流を深めるような取り組み	3	33.3%	5	14.3%
2	B 子育てに関する悩みを受け止める電話相談	3	33.3%	6	17.1%
3	C 電話相談以外で子育てに関する悩みを受け止める相談援助サービス	2	22.2%	4	11.4%
4	D 地域との交流がなされるような取り組み(三世代交流など)	1	11.1%	3	8.6%
5	E 子育てに不安や問題を抱える家庭を保健師や助産師などが訪問してサポートするような取り組み(育児支援家庭訪問事業など)	4	44.4%	4	11.4%
6	F ファミリー・サポート	2	22.2%	4	11.4%
7	G 一時保育	4	44.4%	5	14.3%
8	H 子育てボランティアを養成する取り組み	2	22.2%	2	5.7%
9	I 子育てボランティアをサポートする取り組み	2	22.2%	2	5.7%
10	J 子育て中の保護者を対象にした講座(家庭学級など)	3	33.3%	6	17.1%
11	K 男性の育児参加促進のための取り組み(父親学級、企業への啓蒙活動など)	4	44.4%	6	17.1%
12	L 親子を対象としたサービス(親子学級など)	2	22.2%	5	14.3%
13	M 障がい児を持つ親を支援する取り組み(障がい児を持つ親の会など)	2	22.2%	3	8.6%
	回答市町村社協数 a	9	100%	35	100.0%

「福島県における子育て・子育て支援に関わるアンケート調査」
 ③地域子育て支援センター(アンケート回答数:45か所、回答率:80.4%)

問2 保育士としての年数

選択肢	b/a		b/a	
	都市部回答数a	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1 1年未満	0	0%	0	0%
2 1年以上5年未満	3	9.4%	1	7.7%
3 5年以上10年未満	4	12.5%	2	15.4%
4 10年以上	25	78.1%	9	69.2%
無回答	0	0%	1	7.7%
回答センター数 a	32	100%	13	100%

問3 地域子育て支援センターで行なっている事業 (重複回答)

選択肢	b/a		b/a	
	都市部回答数a	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1 子育てに関する相談	32	100%	13	100%
2 子育てサークルなどの育成・支援	22	68.8%	9	69.2%
3 子どもと一緒に参加できる集いの場の提供	31	96.9%	13	100%
4 子育てに関する情報提供・研修・講演会などの開催	24	75.0%	11	84.6%
5 地域の保育資源の情報提供など	20	62.5%	7	53.8%
6 その他	6	18.8%	1	7.7%
回答センター数 a	32	100%	13	100%

問4 センターへの子育てにかかわる1ヶ月あたりの相談件数

選択肢	b/a		b/a	
	都市部回答数a	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1 0～10件	18	56.3%	12	92.3%
2 11～20件	8	25.0%	1	7.7%
3 21～40件	3	9.4%	0	0.0%
4 41～60件	2	6.3%	0	0.0%
5 61～100件	1	3.1%	0	0.0%
6 100件以上	0	0%	0	0.0%
回答センター数 a	32	100%	13	100%

問5 子育てにかかわる相談内容とその頻度

選択肢	都市部					郡部				
	ない	少ない	多少ある	多い	無回答	ない	少ない	多少ある	多い	無回答
1 子どもの健康	1	4	14	12	1	2	1	8	1	1
2 子どもの性格	2	1	21	7	1	3	2	5	1	2
3 子どもの発達・障がい	1	9	16	5	1	1	1	9	1	1
4 子どもの友達関係	2	6	20	3	1	1	3	5	1	3
5 子どもへのしつけ	0	2	13	16	1	0	1	7	3	2
6 子どもへの教育	3	11	14	3	1	1	5	3	2	2
7 保育施設の不足	7	16	5	2	2	6	4	1	0	2
8 保育の内容(質)	7	15	8	0	2	5	3	3	0	2
9 仕事や家事都合などの場合の保育(一時・延長・休日保育)	1	3	13	13	2	2	4	4	1	2
10 子どもが病気になった場合の保育(病児・病後児保育)	9	10	8	4	1	7	2	2	0	2
11 子どもが安全に遊べる場がない	4	11	12	4	1	3	2	5	1	2
12 子どもと一緒に参加できる集いの場がない	8	13	8	2	1	5	2	3	1	2
13 子育て中の親どうしが知り合い情報交換する場がない	8	12	6	5	1	4	3	3	1	2
14 子育てに対する悩みを相談する場がない	8	14	7	2	1	3	6	1	1	2
15 健康・病気予防・発達支援などに関する専門的な相談窓口がない	13	15	2	1	1	4	6	1	0	2
16 子育てをしている親などに対する心のケアをする専門的な機関がない	14	11	4	1	2	3	7	1	0	2
17 職場に子育てを支援する制度がない	14	10	4	2	2	5	3	3	0	2
18 職場に子育てを支援する雰囲気がない	15	11	4	0	2	5	4	2	0	2
19 子育て後の仕事への復帰	7	8	11	4	2	4	5	2	0	2
20 保育にかかる費用	3	11	9	7	2	5	5	1	0	2
21 医療にかかる費用	15	11	3	1	2	6	4	1	0	2
22 食事など日常生活にかかる費用	17	9	3	1	2	6	5	0	0	2
23 教育(習い事などを含む)にかかる費用	17	9	3	1	2	5	5	1	0	2
合 計	176	222	208	96	34	86	83	71	14	45

問6-1 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～子ども自身に関する内容

(重複回答)

選択肢	b/a		b/a	
	都市部回答数a	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1 定期健康診断	6	18.8%	1	7.7%
2 保健師などによる個別相談	24	75.0%	6	46.2%
3 しつけの方法などについて勉強できる場・ベテランの話を聞ける場	26	81.3%	9	69.2%
4 家庭外での習い事や教室	2	6.3%	0	0.0%
回答センター数 a	32	100%	13	100%

問6-2 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～保育に関する内容

(重複回答)

選択肢	b/a		b/a	
	都市部回答数a	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1 認可保育所	20	62.5%	0	0%
2 認可外保育所(託児所を含む)	2	6.3%	0	0%
3 ファミリーサポートシステム	17	53.1%	6	46.2%
4 一時・延長(早朝・夜間保育を含む)・休日保育	23	71.9%	4	30.8%
5 病児・病後児保育	15	46.9%	6	46.2%
回答センター数 a	32	100%	13	100%

問6-3 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～地域の子育て支援に対する内容(重複回答)

選択肢	b/a		b/a	
	都市部回答数a	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1 子どもが安全に遊べる場	27	84.4%	8	61.5%
2 子どもと一緒に参加できる集いの場	20	62.5%	5	38.5%
3 子育て中の親どうしが知り合い情報交換する場	27	84.4%	7	53.8%
4 子育てに対する悩みを相談する場	23	71.9%	7	53.8%
5 健康・病気予防・発達支援などに関する専門的な相談窓口	18	56.3%	5	38.5%
6 子育てをしている親などに対する心のケアをする専門的な相談窓口	21	65.6%	7	53.8%
回答センター数 a	32	100%	13	100%

問6-4 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～仕事とのかかわりに関する内容(重複回答)

選択肢	b/a		b/a	
	都市部回答数a	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1 子育てを支援する職場の制度(子の看護等休暇、育児短時間勤務ほか)	26	81.3%	9	69.2%
2 子育て中の職業能力開発訓練に対する助成・優遇	12	37.5%	1	7.7%
3 子育て後の再就職支援	21	65.6%	7	53.8%
回答センター数 a	32	100%	13	100.0%

問6-5 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～子育てにかかる費用に関すること(重複回答)

選択肢	b/a		b/a	
	都市部回答数a	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1 保育料軽減・減免措置	27	84.4%	6	46.2%
2 子どもに対する医療費助成制度	16	50.0%	3	23.1%
3 児童手当の支給	12	37.5%	3	23.1%
回答センター数 a	32	100%	13	100%

「福島県における子育て・子育て支援に関わるアンケート調査」
④主任児童委員(アンケート回答数:308人、回答率:63.6%)

問2 主任児童委員としての年数

選択肢	b/a		b/a	
	都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1 1年未満	0	0%	0	0%
2 1年以上5年未満	71	32.6%	37	41.1%
3 5年以上10年未満	101	46.3%	31	34.4%
4 10年以上	45	20.6%	22	24.4%
無回答	1	0%	0	0%
回答数 a	218	100%	90	100%

問3 主任児童委員に寄せられる子育てにかかわる1ヶ月あたりの相談件数

選択肢	b/a		b/a	
	都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1 1件以下	137	62.8%	53	58.9%
2 2～5件	73	33.5%	34	37.8%
3 6～9件	7	3.2%	1	1.1%
4 10～20件	1	0.5%	0	0%
5 20件以上	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	2	2.2%
回答数 a	218	100%	90	100%

問4 主任児童委員としてかかわっている子育て支援への取り組み(重複回答)

選択肢	b/a		b/a	
	都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1 子育てに関する相談	150	68.8%	60	66.7%
2 子育てサークルなどの育成・支援	111	50.9%	46	51.1%
3 子どもと一緒に参加できる集いの場の提供	86	39.4%	28	31.1%
4 子育てに関する情報提供・研修・講演会などの開催	69	31.7%	30	33.3%
5 地域の保育資源の情報提供など	46	21.1%	16	17.8%
6 その他	24	11.0%	20	22.2%
無回答	4	1.8%	2	2.2%
回答数 a	218	100%	90	100.0%

問5 子育てにかかわる相談内容とその頻度

選択肢	都市部					郡部				
	ない	少ない	多少ある	多い	無回答	ない	少ない	多少ある	多い	無回答
1 子どもの健康	98	46	38	4	32	44	18	17	2	9
2 子どもの性格	77	49	53	6	33	41	15	22	1	11
3 子どもの発達・障がい	72	54	57	5	30	32	21	21	7	9
4 子どもの友達関係	65	40	81	8	24	24	27	21	10	8
5 子どもへのしつけ	59	50	69	14	26	28	18	29	8	7
6 子どもへの教育	62	51	59	15	31	29	20	24	7	10
7 保育施設の不足	100	36	37	11	34	48	21	11	1	9
8 保育の内容(質)	103	41	37	4	33	41	29	8	2	10
9 仕事や家事都合などの場合の保育(一時・延長・休日保育)	93	35	48	10	32	32	21	24	4	9
10 子どもが病気になった場合の保育(病児・病後児保育)	101	46	31	7	33	45	16	17	6	6
11 子どもが安全に遊べる場がない	85	59	29	13	32	42	18	19	2	9
12 子どもと一緒に参加できる集いの場がない	78	71	31	6	32	38	28	12	3	9
13 子育て中の親どうしが知り合い情報交換する場がない	66	60	56	8	28	36	23	18	4	9
14 子育てに対する悩みを相談する場がない	61	69	53	7	28	35	23	19	4	9
15 健康・病気予防・発達支援などに関する専門的な相談窓口がない	80	57	41	5	35	35	30	14	3	8
16 子育てをしている親などに対する心のケアをする専門的な機関がない	75	60	46	5	32	34	24	20	3	9
17 職場に子育てを支援する制度がない	106	42	30	6	34	51	18	10	2	9
18 職場に子育てを支援する雰囲気がない	110	40	26	8	34	49	20	9	3	9
19 子育て後の仕事への復帰	95	53	28	10	31	41	27	11	2	9
20 保育にかかる費用	100	29	40	17	32	37	19	19	5	10
21 医療にかかる費用	110	35	27	10	36	48	18	13	0	11
22 食事など日常生活にかかる費用	112	37	25	7	37	40	30	8	1	11
23 教育(習い事などを含む)にかかる費用	103	32	36	11	36	43	20	15	0	12
合 計	2011	1092	978	197	735	893	504	381	80	212

問6-1 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～子ども自身に関する内容(重複回答)

選択肢	b/a		b/a	
	都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1 定期健康診断	33	15.1%	16	17.8%
2 保健師などによる個別相談	100	45.9%	35	38.9%
3 しつけの方法などについて勉強できる場・ベテランの話を聞ける場	149	68.3%	59	65.6%
4 家庭外での習い事や教室	11	5.0%	10	11.1%
回答数 a	218	100%	90	100.0%

問6-2 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～保育に関する内容(重複回答)

選択肢	b/a		b/a	
	都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1 認可保育所	43	19.7%	15	16.7%
2 認可外保育所(託児所を含む)	22	10.1%	3	3.3%
3 ファミリーサポートシステム	78	35.8%	22	24.4%
4 一時・延長(早朝・夜間保育を含む)・休日保育	111	50.9%	43	47.8%
5 病児・病後児保育	95	43.6%	36	40.0%
回答数 a	218	100%	90	100.0%

問6-3 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～地域の子育て支援に対する内容(重複回答)

選択肢	b/a		b/a	
	都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1 子どもが安全に遊べる場	96	44.0%	36	40.0%
2 子どもと一緒に参加できる集いの場	87	39.9%	27	30.0%
3 子育て中の親どうしが知り合い情報交換する場	141	64.7%	45	50.0%
4 子育てに対する悩みを相談する場	117	53.7%	39	43.3%
5 健康・病気予防・発達支援などに関する専門的な相談窓口	61	28.0%	17	18.9%
6 子育てをしている親などに対する心のケアをする専門的な相談窓口	115	52.8%	42	46.7%
回答数 a	218	100%	90	100.0%

問6-4 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～仕事とのかかわりに関する内容(重複回答)

		b/a		b/a	
選択肢		都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1	子育てを支援する職場の制度(子の看護等休暇、育児短時間勤務ほか)	134	61.5%	56	62.2%
2	子育て中の職業能力開発訓練に対する助成・優遇	35	16.1%	12	13.3%
3	子育て後の再就職支援	122	56.0%	44	48.9%
回答数 a		218	100%	90	100.0%

問6-5 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～子育てにかかる費用に関すること(重複回答)

		b/a		b/a	
選択肢		都市部回答数b	構成比(%)	郡部回答数b	構成比(%)
1	保育料軽減・減免措置	120	55.0%	54	60.0%
2	子どもに対する医療費助成制度	82	37.6%	33	36.7%
3	児童手当の支給	76	34.9%	21	23.3%
回答数 a		218	100%	90	100.0%

「福島県における子育て・子育て支援に関わるアンケート調査」

⑤保育所を利用する親(LL群(対象数:150):アンケート回答数:101人、回答率:67.3%)

※「LL群」:女性人口が少なく、出生率も低い(抽出市町村数及び保育所(園)数・7)

問2 子どもとの関係

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	母親	89	88.1%
2	父親	11	10.9%
3	祖母	1	1.0%
4	祖父	0	0.0%
5	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合 計	101	100.0%

問3 あなたの年齢(保護者(回答者)について)

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	～25歳	6	5.9%
2	26～30歳	21	20.8%
3	31～35歳	39	38.6%
4	36～40歳	26	25.7%
5	41～45歳	7	6.9%
6	46～50歳	0	0.0%
7	51～60歳	2	2.0%
	合 計	101	100.0%

問4 子どもから見ての世帯構成(同居の家族)

	選択肢	回答数b	構成比(%) b/a
1	母	98	97.0%
2	父	92	91.1%
3	祖母	55	54.5%
4	祖父	52	51.5%
5	曾祖母	16	15.8%
6	曾祖父	9	8.9%
7	おば	7	6.9%
8	おじ	6	5.9%
9	きょうだい	75	74.3%
10	その他	2	2.0%
	回答数 a	101	100.0%

問5 あなたの就労状況

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	フルタイム勤務	60	59.4%
2	パートタイム勤務	21	20.8%
3	自営業	8	7.9%
4	専業主婦(夫)	11	10.9%
5	その他	1	1.0%
	無回答	0	0.0%
	合 計	101	100.0%

問6 子育てにかかわる相談内容とその頻度（重複回答）

		b/a	
選択肢	回答数b	構成比(%)	
		回答数b	構成比(%)
1 子どもの健康	36	36	35.6%
2 子どもの性格	28	28	27.7%
3 子どもの発達・障がい	7	7	6.9%
4 子どもの友達関係	32	32	31.7%
5 子どもへのしつけ	57	57	56.4%
6 子どもへの教育	53	53	52.5%
7 保育施設の不足	3	3	3.0%
8 保育の内容(質)	28	28	27.7%
9 仕事や家事都合などの場合の保育(一時・延長・休日保育)	26	26	25.7%
10 子どもが病気になった場合の保育(病児・病後児保育)	44	44	43.6%
11 子どもが安全に遊べる場がない	47	47	46.5%
12 子どもと一緒に参加できる集いの場がない	7	7	6.9%
13 子育て中の親どうしが知り合い情報交換する場がない	9	9	8.9%
14 子育てに対する悩みを相談する場がない	9	9	8.9%
15 健康・病気予防・発達支援などに関する専門的な相談窓口がない	15	15	14.9%
16 子育てをしている親などに対する心のケアをする専門的な機関がない	14	14	13.9%
17 職場に子育てを支援する制度がない	31	31	30.7%
18 職場に子育てを支援する雰囲気がない	31	31	30.7%
19 子育て後の仕事への復帰	13	13	12.9%
20 保育にかかる費用	41	41	40.6%
21 医療にかかる費用	18	18	17.8%
22 食事など日常生活にかかる費用	14	14	13.9%
23 教育(習い事などを含む)にかかる費用	47	47	46.5%
回答数 a		101	100.0%

問7-1 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～子ども自身に関する内容(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	定期健康診断	92	91.1%	78	77.2%	4	4.0%
2	保健師などによる個別相談	78	77.2%	39	38.6%	2	2.0%
3	しつけの方法などについて勉強できる場・ベテランの話を聞ける場	33	32.7%	21	20.8%	20	19.8%
4	家庭外での習い事や教室	47	46.5%	16	15.8%	14	13.9%
	回答数 a	101	100.0%	101	100.0%	101	100.0%

問7-2 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～保育に関する内容(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	認可保育所	80	79.2%	62	61.4%	8	7.9%
2	認可外保育所(託児所を含む)	46	45.5%	4	4.0%	9	8.9%
3	ファミリーサポートシステム	35	34.7%	3	3.0%	10	9.9%
4	一時・延長(早朝・夜間保育を含む)・休日保育	45	44.6%	21	20.8%	29	28.7%
5	病児・病後児保育	14	13.9%	1	1.0%	42	41.6%
	回答数 a	101	100.0%	101	100.0%	101	100.0%

問7-3 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～地域の子育て支援に対する内容(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	子どもが安全に遊べる場	25	24.8%	15	14.9%	45	44.6%
2	子どもと一緒に参加できる集いの場	66	65.3%	25	24.8%	11	10.9%
3	子育て中の親どうしが知り合い情報交換する場	58	57.4%	22	21.8%	14	13.9%
4	子育てに対する悩みを相談する場	47	46.5%	10	9.9%	14	13.9%
5	健康・病気予防・発達支援などに関する専門的な相談窓口	31	30.7%	5	5.0%	21	20.8%
6	子育てをしている親などに対する心のケアをする専門的な相談窓口	24	23.8%	0	0.0%	26	25.7%
	回答数 a	101	100.0%	101	100.0%	101	100.0%

問7-4 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～仕事とのかかわりに関する内容(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	子育てを支援する職場の制度(子の看護等休暇、育児短時間勤務ほか)	41	40.6%	13	12.9%	32	31.7%
2	子育て中の職業能力開発訓練に対する助成・優遇	13	12.9%	1	1.0%	26	25.7%
3	子育て後の再就職支援	16	15.8%	1	1.0%	30	29.7%
	回答数 a	101	100.0%	101	100.0%	101	100.0%

問7-5 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～子育てにかかる費用に関すること(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	保育料軽減・減免措置	53	52.5%	22	21.8%	26	25.7%
2	子どもに対する医療費助成制度	80	79.2%	63	62.4%	22	21.8%
3	児童手当の支給	85	84.2%	68	67.3%	21	20.8%
	回答数 a	101	100.0%	101	100.0%	101	100.0%

「福島県における子育て・子育て支援に関わるアンケート調査」

⑤保育所を利用する親(LH群(対象人数:150人):アンケート回答数:42人、回答率:28%)

※「LH群」:女性人口が少なく、出生率が高い(抽出市町村及び保育所(園)数・6)

問2 子どもとの関係

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	母親	39	92.9%
2	父親	3	7.1%
3	祖母	0	0.0%
4	祖父	0	0.0%
5	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合 計	42	100.0%

問3 あなたの年齢(保護者(回答者)について)

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	～25歳	3	7.1%
2	26～30歳	11	26.2%
3	31～35歳	15	35.7%
4	36～40歳	12	28.6%
5	41～45歳	1	2.4%
6	46～50歳	0	0.0%
7	51～60歳	0	0.0%
8	60歳以上	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合 計	42	100.0%

問4 子どもから見ての世帯構成(同居の家族)

	選択肢	回答数b	構成比(%) b/a
1	母	41	97.6%
2	父	41	97.6%
3	祖母	21	50.0%
4	祖父	20	47.6%
5	曾祖母	5	11.9%
6	曾祖父	4	9.5%
7	おば	1	2.4%
8	おじ	0	0.0%
9	きょうだい	33	78.6%
10	その他	0	0.0%
	回答数 a	42	100.0%

問5 あなたの就労状況

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	フルタイム勤務	28	66.7%
2	パートタイム勤務	11	26.2%
3	自営業	1	2.4%
4	専業主婦(夫)	2	4.8%
5	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合 計	42	100.0%

問6 子育てにかかわる相談内容とその頻度（重複回答）

b/a

	選択肢	回答数b	構成比(%)
1	子どもの健康	19	45.2%
2	子どもの性格	18	42.9%
3	子どもの発達・障がい	6	14.3%
4	子どもの友達関係	12	28.6%
5	子どもへのしつけ	32	76.2%
6	子どもへの教育	19	45.2%
7	保育施設の不足	7	16.7%
8	保育の内容(質)	11	26.2%
9	仕事や家事都合などの場合の保育(一時・延長・休日保育)	12	28.6%
10	子どもが病気になった場合の保育(病児・病後児保育)	20	47.6%
11	子どもが安全に遊べる場がない	14	33.3%
12	子どもと一緒に参加できる集いの場がない	5	11.9%
13	子育て中の親どうしが知り合い情報交換する場がない	6	14.3%
14	子育てに対する悩みを相談する場がない	3	7.1%
15	健康・病気予防・発達支援などに関する専門的な相談窓口がない	5	11.9%
16	子育てをしている親などに対する心のケアをする専門的な機関がない	13	31.0%
17	職場に子育てを支援する制度がない	11	26.2%
18	職場に子育てを支援する雰囲気がない	18	42.9%
19	子育て後の仕事への復帰	9	21.4%
20	保育にかかる費用	21	50.0%
21	医療にかかる費用	7	16.7%
22	食事など日常生活にかかる費用	6	14.3%
23	教育(習い事などを含む)にかかる費用	17	40.5%
	回答数 a	42	100.0%

問7-1 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～子ども自身に関する内容(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	定期健康診断	39	92.9%	33	78.6%	4	9.5%
2	保健師などによる個別相談	35	83.3%	24	57.1%	3	7.1%
3	しつけの方法などについて勉強できる場・ベテランの話を聞ける場	10	23.8%	3	7.1%	9	21.4%
4	家庭外での習い事や教室	20	47.6%	4	9.5%	8	19.0%
	回答数 a	42	100.0%	42	100.0%	42	100.0%

問7-2 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～保育に関する内容(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	認可保育所	35	14.5%	27	11.2%	8	3.3%
2	認可外保育所(託児所を含む)	22	9.1%	2	0.8%	5	2.1%
3	ファミリーサポートシステム	12	5.0%	0	0.0%	7	2.9%
4	一時・延長(早朝・夜間保育を含む)・休日保育	23	9.5%	12	5.0%	12	5.0%
5	病児・病後児保育	10	4.1%	2	0.8%	15	6.2%
	回答数 a	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%

問7-3 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～地域の子育て支援に対する内容(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	子どもが安全に遊べる場	15	35.7%	12	28.6%	18	42.9%
2	子どもと一緒に参加できる集いの場	29	69.0%	15	35.7%	7	16.7%
3	子育て中の親どうしが知り合い情報交換する場	24	57.1%	7	16.7%	7	16.7%
4	子育てに対する悩みを相談する場	24	57.1%	8	19.0%	4	9.5%
5	健康・病気予防・発達支援などに関する専門的な相談窓口	18	42.9%	2	4.8%	4	9.5%
6	子育てをしている親などに対する心のケアをする専門的な相談窓口	9	21.4%	0	0.0%	11	26.2%
	回答数 a	42	100.0%	42	100.0%	42	100.0%

問7-4 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～仕事とのかかわりに関する内容(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	子育てを支援する職場の制度(子の看護等休暇、育児短時間勤務ほか)	17	40.5%	6	14.3%	15	35.7%
2	子育て中の職業能力開発訓練に対する助成・優遇	6	14.3%	0	0.0%	9	21.4%
3	子育て後の再就職支援	13	31.0%	2	4.8%	9	21.4%
	回答数 a	42	100.0%	42	100.0%	42	100.0%

問7-5 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～子育てにかかる費用に関すること(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	保育料軽減・減免措置	11	26.2%	6	14.3%	15	35.7%
2	子どもに対する医療費助成制度	32	76.2%	26	61.9%	6	14.3%
3	児童手当の支給	35	83.3%	26	61.9%	6	14.3%
	回答数 a	42	100.0%	42	100.0%	42	100.0%

「福島県における子育て・子育て支援に関わるアンケート調査」

⑤保育所を利用する親(HL群(対象人数:150人):アンケート回答数:42人、回答率:28%)

※「HL群」:女性人口が多く、出生率が低い(抽出市町村数・2 抽出保育所(園)数・5)

問2 子どもとの関係

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	母親	39	92.9%
2	父親	3	7.1%
3	祖母	0	0.0%
4	祖父	0	0.0%
5	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合 計	42	100.0%

問3 あなたの年齢(保護者(回答者)について)

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	～25歳	2	4.8%
2	26～30歳	17	40.5%
3	31～35歳	6	14.3%
4	36～40歳	13	31.0%
5	41～45歳	3	7.1%
6	46～50歳	0	0.0%
7	51～60歳	1	2.4%
8	60歳以上	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合 計	42	100.0%

問4 子どもから見ての世帯構成(同居の家族)

	選択肢	回答数b	構成比(%)
1	母	42	100.0%
2	父	34	81.0%
3	祖母	24	57.1%
4	祖父	24	57.1%
5	曾祖母	6	14.3%
6	曾祖父	3	7.1%
7	おば	5	11.9%
8	おじ	4	9.5%
9	きょうだい	32	76.2%
10	その他	1	2.4%
	回答数 a	42	100.0%

問5 あなたの就労状況

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	フルタイム勤務	21	50.0%
2	パートタイム勤務	15	35.7%
3	自営業	3	7.1%
4	専業主婦(夫)	1	2.4%
5	その他	2	4.8%
	無回答	0	0.0%
	合 計	42	100.0%

問6 子育てにかかわる相談内容とその頻度（重複回答）

b/a

	選択肢	回答数b	構成比(%)
1	子どもの健康	16	38.1%
2	子どもの性格	17	40.5%
3	子どもの発達・障がい	2	4.8%
4	子どもの友達関係	9	21.4%
5	子どもへのしつけ	32	76.2%
6	子どもへの教育	19	45.2%
7	保育施設の不足	10	23.8%
8	保育の内容(質)	12	28.6%
9	仕事や家事都合などの場合の保育(一時・延長・休日保育)	12	28.6%
10	子どもが病気になった場合の保育(病児・病後児保育)	21	50.0%
11	子どもが安全に遊べる場がない	13	31.0%
12	子どもと一緒に参加できる集いの場がない	7	16.7%
13	子育て中の親どうしが知り合い情報交換する場がない	11	26.2%
14	子育てに対する悩みを相談する場がない	4	9.5%
15	健康・病気予防・発達支援などに関する専門的な相談窓口がない	6	14.3%
16	子育てをしている親などに対する心のケアをする専門的な機関がない	9	21.4%
17	職場に子育てを支援する制度がない	14	33.3%
18	職場に子育てを支援する雰囲気がない	5	11.9%
19	子育て後の仕事への復帰	9	21.4%
20	保育にかかる費用	21	50.0%
21	医療にかかる費用	7	16.7%
22	食事など日常生活にかかる費用	7	16.7%
23	教育(習い事などを含む)にかかる費用	21	50.0%
	回答数 a	42	100.0%

問7-1 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～子ども自身に関する内容（重複回答）

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	定期健康診断	38	90.5%	28	66.7%	2	4.8%
2	保健師などによる個別相談	30	71.4%	9	21.4%	1	2.4%
3	しつけの方法などについて勉強できる場・ベテランの話を聞ける場	7	16.7%	2	4.8%	20	47.6%
4	家庭外での習い事や教室	20	47.6%	3	7.1%	6	14.3%
	回答数 a	42	100.0%	42	100.0%	42	100.0%

問7-2 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～保育に関する内容（重複回答）

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	認可保育所	39	92.9%	29	69.0%	2	4.8%
2	認可外保育所(託児所を含む)	32	76.2%	3	7.1%	0	0.0%
3	ファミリーサポートシステム	6	14.3%	2	4.8%	5	11.9%
4	一時・延長(早朝・夜間保育を含む)・休日保育	22	52.4%	3	7.1%	13	31.0%
5	病児・病後児保育	14	33.3%	1	2.4%	19	45.2%
	回答数 a	42	100.0%	42	100.0%	42	100.0%

問7-3 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～地域の子育て支援に対する内容(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	子どもが安全に遊べる場	20	47.6%	13	31.0%	12	28.6%
2	子どもと一緒に参加できる集いの場	20	47.6%	11	26.2%	6	14.3%
3	子育て中の親どうしが知り合い情報交換する場	15	35.7%	4	9.5%	6	14.3%
4	子育てに対する悩みを相談する場	18	42.9%	3	7.1%	7	16.7%
5	健康・病気予防・発達支援などに関する専門的な相談窓口	12	28.6%	1	2.4%	12	28.6%
6	子育てをしている親などに対する心のケアをする専門的な相談窓口	6	14.3%	0	0.0%	15	35.7%
	回答数 a	42	100.0%	42	100.0%	42	100.0%

問7-4 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～仕事とのかかわりに関する内容(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	子育てを支援する職場の制度(子の看護等休暇、育児短時間勤務ほか)	19	45.2%	8	19.0%	11	26.2%
2	子育て中の職業能力開発訓練に対する助成・優遇	10	23.8%	0	0.0%	11	26.2%
3	子育て後の再就職支援	9	21.4%	1	2.4%	16	38.1%
	回答数 a	42	100.0%	42	100.0%	42	100.0%

問7-5 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～子育てにかかる費用に関すること(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	保育料軽減・減免措置	22	52.4%	11	26.2%	15	35.7%
2	子どもに対する医療費助成制度	32	76.2%	22	52.4%	7	16.7%
3	児童手当の支給	32	76.2%	23	54.8%	11	26.2%
	回答数 a	42	100.0%	42	100.0%	42	100.0%

「福島県における子育て・子育て支援に関わるアンケート調査」

⑤保育所を利用する親(HH群(対象人数:150人):アンケート回答数:57人、回答率:38%)

※「HH群」:女性人口が多く、出生率も高い(抽出市町村数・4市 抽出保育所(園)数・7)

問2 子どもとの関係

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	母親	52	91.2%
2	父親	5	8.8%
3	祖母	0	0.0%
4	祖父	0	0.0%
5	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合 計	57	100.0%

問3 あなたの年齢(保護者(回答者)について)

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	～25歳	1	1.8%
2	26～30歳	12	21.1%
3	31～35歳	26	45.6%
4	36～40歳	7	12.3%
5	41～45歳	9	15.8%
6	46～50歳	2	3.5%
7	51～60歳	0	0.0%
8	60歳以上	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合 計	57	100.0%

問4 子どもから見ての世帯構成(同居の家族)

	選択肢	回答数b	構成比(%)
1	母	57	100.0%
2	父	51	89.5%
3	祖母	15	26.3%
4	祖父	12	21.1%
5	曾祖母	1	1.8%
6	曾祖父	0	0.0%
7	おば	0	0.0%
8	おじ	3	5.3%
9	きょうだい	43	75.4%
10	その他	0	0.0%
	回答数 a	57	100.0%

問5 あなたの就労状況

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	フルタイム勤務	30	52.6%
2	パートタイム勤務	20	35.1%
3	自営業	2	3.5%
4	専業主婦(夫)	3	5.3%
5	その他	2	3.5%
	無回答	0	0.0%
	合 計	57	100.0%

問6 子育てにかかわる相談内容とその頻度（重複回答）

b/a

	選択肢	回答数b	構成比(%)
1	子どもの健康	29	50.9%
2	子どもの性格	19	33.3%
3	子どもの発達・障がい	7	12.3%
4	子どもの友達関係	19	33.3%
5	子どもへのしつけ	34	59.6%
6	子どもへの教育	31	54.4%
7	保育施設の不足	3	5.3%
8	保育の内容(質)	14	24.6%
9	仕事や家事都合などの場合の保育(一時・延長・休日保育)	15	26.3%
10	子どもが病気になった場合の保育(病児・病後児保育)	35	61.4%
11	子どもが安全に遊べる場がない	29	50.9%
12	子どもと一緒に参加できる集いの場がない	3	5.3%
13	子育て中の親どうしが知り合い情報交換する場がない	4	7.0%
14	子育てに対する悩みを相談する場がない	3	5.3%
15	健康・病気予防・発達支援などに関する専門的な相談窓口がない	4	7.0%
16	子育てをしている親などに対する心のケアをする専門的な機関がない	11	19.3%
17	職場に子育てを支援する制度がない	16	28.1%
18	職場に子育てを支援する雰囲気がない	15	26.3%
19	子育て後の仕事への復帰	11	19.3%
20	保育にかかる費用	35	61.4%
21	医療にかかる費用	11	19.3%
22	食事など日常生活にかかる費用	19	33.3%
23	教育(習い事などを含む)にかかる費用	16	28.1%
	回答数 a	57	100.0%

問7-1 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～子ども自身に関する内容(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	定期健康診断	51	89.5%	41	71.9%	5	8.8%
2	保健師などによる個別相談	47	82.5%	24	42.1%	3	5.3%
3	しつけの方法などについて勉強できる場・ベテランの話を聞ける場	23	40.4%	10	17.5%	10	17.5%
4	家庭外での習い事や教室	27	47.4%	14	24.6%	7	12.3%
	回答数 a	57	100.0%	57	100.0%	57	100.0%

問7-2 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～保育に関する内容(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	認可保育所	51	89.5%	45	78.9%	5	8.8%
2	認可外保育所(託児所を含む)	45	78.9%	4	7.0%	0	0.0%
3	ファミリーサポートシステム	31	54.4%	1	1.8%	4	7.0%
4	一時・延長(早朝・夜間保育を含む)・休日保育	46	80.7%	16	28.1%	7	12.3%
5	病児・病後児保育	36	63.2%	0	0.0%	18	31.6%
	回答数 a	57	100.0%	57	100.0%	57	100.0%

問7-3 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～地域の子育て支援に対する内容(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	子どもが安全に遊べる場	17	29.8%	9	15.8%	29	50.9%
2	子どもと一緒に参加できる集いの場	35	61.4%	14	24.6%	7	12.3%
3	子育て中の親どうしが知り合い情報交換する場	28	49.1%	10	17.5%	5	8.8%
4	子育てに対する悩みを相談する場	33	57.9%	2	3.5%	8	14.0%
5	健康・病気予防・発達支援などに関する専門的な相談窓口	24	42.1%	2	3.5%	14	24.6%
6	子育てをしている親などに対する心のケアをする専門的な相談窓口	15	26.3%	1	1.8%	14	24.6%
	回答数 a	57	100.0%	57	100.0%	57	100.0%

問7-4 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～仕事とのかかわりに関する内容(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	子育てを支援する職場の制度(子の看護等休暇、育児短時間勤務ほか)	21	36.8%	9	15.8%	20	35.1%
2	子育て中の職業能力開発訓練に対する助成・優遇	11	19.3%	0	0.0%	9	15.8%
3	子育て後の再就職支援	13	22.8%	0	0.0%	10	17.5%
	回答数 a	57	100.0%	57	100.0%	57	100.0%

問7-5 現在求められていると考えられる子育て支援策・取り組み～子育てにかかる費用に関すること(重複回答)

	選択肢	あることを知っている		利用した参加した		必要拡充希望	
		回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)	回答数b	構成比(%)
1	保育料軽減・減免措置	26	45.6%	8	14.0%	24	42.1%
2	子どもに対する医療費助成制度	37	64.9%	33	57.9%	19	33.3%
3	児童手当の支給	44	77.2%	35	61.4%	14	24.6%
	回答数 a	57	100.0%	57	100.0%	57	100.0%

問7 子育て支援内容について、今後必要もしくはさらに充実を望むこと。(保護者)
 (LL 群：女性人口が少なく、出生率も低い LH 群：女性人口が少なく、出生率が高い)
 (HL 群：女性人口が多く、出生率が低い HH 群：女性人口が多く、出生率も高い)

分類	【1. 定期健康診断】
HH	母子手帳にある年齢時(〇〇市は1ヶ月、3ヶ月、10ヶ月、1歳半、3歳半のみ)にやってほしい(その他は6ヶ月、1歳、2歳、4歳、5歳、6歳、希望者のみなどで)
HL	子どもの健康状態を知るため。
HL	子どもの健康・発育を知るのにとても大切だと思うから。
LL	月に1回の体重測定では、その日の体調が悪いと来月まで参加できません。
LL	子育てを経験した保育士、保健師を充実してほしい。
LH	就学前については特にお願ひしたい。また平日だと仕事をしている人には難しいこともあると思われるため、休日にも対応してもらえるとありがたい。
LH	なかなか個人では病院には行けないから。
HH	もっと詳しく丁寧に内容を充実させてほしい。
HH	任意の予防接種でも、何歳から、この時期が良いなど、案内を通知して欲しいと思います。
	【2. 保健師などによる個別相談】
HH	大丈夫だの一言がほしい!余計に不安になることもあります。
LL	不安に思っていることを相談でき安心できる。
HL	今の母親は神経質だと年寄りによく言われますが、そういう指導でする事をもっと回りに広げてほしい。
LL	町全体が老人が主で保健センター等でもなかなか相談に行きづらいし、いないときが多い。
LH	就学前については特にお願ひしたい。また、平日だと仕事をしている人には難しいこともあると思われるため、休日にも対応してもらえるとありがたい。
LH	2人目になっても心配することは沢山あるから。
HH	このような機会があってもわからないでいることが多いので、広報活動をもっと沢山してほしい。
	【3. 躰の方法などについて勉強できる場・ベテランの話を聞ける場】
LL	悩むことがある。参考本を買って読んでいました。
LH、HH	躰などベテランの話を聞きたいから。
LL	分かっているても出来ないこともあり、話を聞く事によってまた見直し、子育てが出来ます。
LH	どうしたら良いのか分からないときがあります。
HL	参加したことがないが、あればぜひ参加してみたい。
HL	ここまでやって良いのかと迷うことがあるので、ベテランの方の話が聞けたらと思います。
HL	無料講習会などがあれば参加しやすい。
HL	健康診断などと一緒に行っていただきたい。別の日に設けると仕事をしている人は又休みを取るの困難です。
HL	何回も教えて出来ないどうしても怒ってしまいます。なかなかどうすればいいのかと悩みは絶えません。
HL	そういう場がないと思います。
HL	他の人の話も聞きたい。
HL	初めての育児なので、いろいろ勉強したい。
HL	昔ながらの方法の良し悪しを知りたい。
HL	夫のために必要、私のいう事はあまり聞きません。
LL	躰の仕方が良く分かりません。
LL	反抗期などの時、悪い事をした時の叱り方。
LL	年寄りと若い人たちの心の話し合い。
LH	子育てに関して、地域の年配方との交流がほしい。
HL	少しでもいいものを聞いて実行したいから。
LL	町に存在しません。
LL	このような場がありません。
LL	もっと多くのことについて話を聞きたいから。沢山の中から必要と思うものだけ選んで参加したいから。
LL	悩みなどを含め勉強して生活に生かしたい。
LH	仕事が忙しく保育園等の生活も見えず、子育てに不安を感じるから。
HH	託児システムがあっても、時間帯が合いません。
HH	このような機会があってもわからないでいることが多いので、広報活動をもっと沢山してほしい。
HH	勉強できる場があっても指導者の言っていることが理想論で実際には役に立たない。
	【4. 家庭外での習い事や教室】
LL	市や町主催のものがもっとあっても良いのでは。
LH	学力低下があるので。

LH	習わせたいが、うちの地域では送迎も大変なので難しい。
HL	習い事をさせたいが教室がない。不足している。
HL	何をさせたらいいかわからない。
LL	保育所や幼稚園で、少々でも英語とか学べれば。
HH	子どもが多いので年齢にあったもの、また日時を選べるものが多く必要、費用も低価で。
LL	自分も習い事をして育ってきたし、習い事で自信がついたり、伸びていく部分もあると思うため。
LL	少子化で空手や水泳、剣道、柔道等習わせたくても無理があります。
HL	専門の先生に教えていただき、伸ばしてあげたい。
LL	子どもの能力をいろいろな方面へ伸ばして行きたいから。
LL	地元で作って欲しい。現在、充実してない。
HH	このような機会があってもわからないでいることが多いので、広報活動をもっと沢山してほしい。サークル活動などが沢山あると良いですね。
HH	仕事を持っていると、習い事に行かせる送迎などの時間をどうするか。
	【5. 認可保育所】
LH	子どもの人数が多くなると大変だから。
HH	入所の際になかなか入れず苦労した。同じ市民でサービスが受けられる人とそうでない人がいるのはおかしい。
LL	子どもの友達関係、教育などに良い。
LL	定員が少ない。入所時期が年2回のみ。
LH	働くためには預けるしかないのに、早く迎えに来いといやみばかり言われる。
HL	働かなければ食べていけない。
HL	働くお父さんお母さんにとって必要不可欠。
HH	共働きのため利用している。大変心強い。
LH	希望申請を出しても定員オーバーで入れなかった。
LL	町で行なっているため職員がマンネリ化しています。もう少しよくみてもらいたい。
LL	町内にはないため。
LL	公・町立でも私立並みにもっと全てにおいて一生懸命になって欲しい。
LH	子育てについて先生にも相談できて、大変助かっています。
LH	環境が余りよくないと、もっと人数が多く入れるようにしないと仕事復帰できない。
HH	休日保育の場が欲しい。
HH	公立の保育所がなくなる不安を抱えている。
	【6. 認可外保育所（託児所含む）】
LH	子どもの人数が多くなると大変だから。
LL	長期休みのときの子どもをみくれる場所をもっと充実させて欲しい。
LH	1箇所くらいあっても良いと思う。
LH	高いイメージがある。
LL	変則勤務の職場だと保育時間内の送迎が難しい時があります。
LH	認可保育園では制限が多く、実際働いていた頃不便に思うことが多かったため。
	【7. ファミリーサポートシステム】
LL、HL	全く知らない。
HH	殆どの人は利用していない。税金の無駄。
HH	利用している方はいるのでしょうか。
LH	どのようなシステムかわからない。
HH	以前〇〇市に住んでいたときに利用し、大変心強い。
LL	サポートがあると安心感がある。気軽に利用できるサポートは必要。
LL	知ってはいるが、どんな人がやっているのか知らないのが怖い。
LH	父親にも育児について勉強してほしい。
HH	利用したいと思うがシステムが良くわからない。
	【8. 一時・延長（早朝・夜間保育を含む）・休日保育】
LL	近くにあっても使いたい時に使えないのでは意味がありません。
LL	サービス業のため休日は余り休めません。
HH	休日保育が少ない。母親が仕事できる職種が限られてしまいます。
HH	今は土曜日の保育は半日だけなので、一日やってほしい。
LL	土曜日でも一日仕事の場合。

LH	町立保育所のためか、あからさまに嫌がられます。以前利用していた他県の私立保育園ではそのようなことは全くありませんでした。
LH	多少はやっているが、とても働く人に合わせた制度ではありません。
HL	働くお父さんお母さんにとって必要不可欠。
HL	就労時間を考えると午後7時くらいまで保育があると助かります。
HL	残業にも対応できる様にしてほしい。
HL	共働きの人は助かる。
HL	母子家庭な上に実家でも見てもらえない。
HL	夜間保育もあれば交替制の仕事もできるし、仕事を探せる条件に良いと思います。
LL	子どもの休みに仕事を合わせるようなので。
HH	仕事場の協力がないと、時間で制限され職がない。
HH	会社で休日出勤のときなど子どもを見てくれる人がいないとき。
LL	両親とも仕事で家にみてくれる者がいないために必要を感じます。
LL	一時保育があると急な用事のとき助かります。
LH	母子家庭の世帯が多くなった。
HL	通勤に時間がかかる人もいるから、朝7時10分ころ預かって欲しい。
LL	保育士の休みがメインとなり、子どもは休日預けられません。
LL	町内にはないため。
LL	保育士がサラリーマン化し、必要があっても頼みづらい。
LL	両親共働きで、仕事の内容によっては休みを取れないことも。また、祖父母も遠く離れ支援してもらえないこともあります。特にインフルエンザなどの長期に対しては、かなりキツイ。
LL	短時間や休日保育は特に充実して欲しい。緊急時はとても助かります。
LH	そうそう対応できるとは限らず、わが家などは同居していても、そちらは介護を必要とする家族がいたりするため、このような対応をしてもらえれば、非常に助かります。
LH	夜も預けられるようになれば、できる仕事が増えると思います。
HH	近くに休日保育をしてくれるところがなく、あってもその園で常に利用していないとダメと言われます。
	【9. 病児・病後児保育】
LL	育児を放棄する訳ではないが必要不可欠。
LL	急に病気になったとき、一日くらいは都合をつけられても何日もは無理だから。
LL	仕事がなかなか休めないなのでこの制度があれば良いと思います。
LL	病気にかかってしまうと保育園では預かってもらえないため、会社を休まなくてはなりません。
LH	工作中、少しの風邪でも保育所からの呼び出しで仕事に影響があるため。
LH	町立保育所のためか、あからさまに嫌がられます。以前利用していた他県の私立保育園ではそのようなことは全くありませんでした。
HH	予約が必要だと聞いています。子どもは急に病気になるのでその日に一時的にでも預かってもらえると助かると思います。
HH	祖父母は遠方でいないので病気のとき仕事を休むのが厳しい。
LL	働いている親にとっては時間的なものを見ても子どもを預ける上で様々な形態の保育所がなければ困ってしまうと思います。
LH	仕事は責任があるが、休みばかり取るようなので、とてもつらい。
HL	母子家庭で仕事が休めないとき、病院や専門の施設で見えてもらえるようにしてほしい。
HL	医療機関が隣接しているとより安心と思います。
HL	病後2～3日保育していただくと助かります。
HL	状態にもよりますが、看護師などがいればなお安心です。
LL	子どもが股関節脱臼で、手術でのリハビリで保育園では保育が出来ず、妻が会社を3ヶ月間休むこととなりましたが、休みをもらえず退社せざるをえませんでした。
HH	病院併設など多くの施設があれば良いと思います。
HH	どこでも利用できるわけではなく、少なすぎます。
LL	子どもの病気で職場を休むと嫌味を言われます。
LL	急に病気になった場合、何日も休みを取れないため必要。
LL	保育士がサラリーマン化し、必要があっても頼みづらい。
HL	仕事を休めば給料が少なくなり、生活が大変になるため。
HL	重い病気以外は扱ってくれる施設が欲しい。
LL	一度風邪を引くと元気でしばらく保育所へ行けず仕事を長く休む事になるため。
LL	両親共働きで、仕事の内容によっては休みを取れないことも、また祖父母も遠く離れ支援してもらえないこともある。特にインフルエンザなどの長期に対しては、かなりキツイ。
LL	多少の熱はあっても元気なときは、保育はしてほしい。
LL	仕事を持っている親にとっては、とても必要だと思うが少ないと思います。
LH	核家族でフルタイムで働くには、必要と感じるときがあるから。

LH	どうしても子を見れないときもあるので（産前・産後等も）。
LH	仕事上どうしようもない時に利用できたらと願っていますが、ありません。
HH	あまり評判の良くないような病院で預けるのはいや。
	【10. 子どもが安全に遊べる場】
LL	遊具等整備点検不十分。
LL	田舎なので歩いていける場所がありません。
LL	福島市の「こむこむ」のような屋内施設が近くにほしい。
LL	運動公園はありますが、真夏や真冬、天気の良いときの屋内施設がありません。
LL	幼児が楽しく安全に遊べる所は、保育園や幼稚園以外数少ない。
HL、HH	公園が少ない。近くにないと車で行かざるを得ないので駐車場の多い公園が多くあってほしい。
LL、LH、HH	もっと身近に公園がほしい。
LL	学校しかない。
LL	公園がありません。
LL、HL	家の近くにないの車で行かなければならないのが苦。
LL	今の世の中、親と一緒に公園等に行かなくてはならない。
HH	市で運営し安く遊べる遊園地的なもの。
LL、LH、HH	雪や雨の日も気軽に利用でき安全に遊べる場が近くにあるといい。
LH	地域には本当に少ない。休みの日には近隣の市内公園へ出かけています。
LH	スペースが狭かったり、全くない地区もあります。老朽化が激しい。
HL	近くに市の公園はあるが雑草がひどい。
LL	常に注意しなければならない点、シルバー隊等の協力は助かります。
LL	遊具が少し大きな子用が多い。
HH	無料で室内で遊べる場所がないから。
HH	安全第一で遊具が取り除かれ、遊べるものがなくなっているから。
LH、HH	公園等あまり清潔でない。
HH	近くの公園でも小さい子だと遊びにくいのもあるので、いろいろ増やして欲しい。
HH	遊べる場はあるけれど、安全でないことが多い。
HH	夏など屋内で遊べる場がもっと欲しい。日曜日も解放して欲しい（公的な場所）。
	【11. 子どもと一緒に参加できる集いの場】
LL	平日行なわれているものが多い。
LL	働いている親も参加しやすい日時にしてほしい
LL	今のところ保育園の行事ぐらいしか参加したことがありません。
LH	あるのかも知れないが情報が無い、知る手段がない。近所になく、遠方まで行かなくてはならない。
LH、HL	他の子、親との交流を持ちたい。
HH	働いている人も考慮して土・日・祝日などに開催してほしい。
LH	あまり知られていないので周知を図る。
LL	親子の仲が深まるようなものを多く望みます。
	【12. 子育て中の親同士が知り合い情報交換する場】
HL	あるのかも知れないが情報が無い、知る手段がない。近所になく、遠方まで行かなくてはならない。
HL	同じ年の子を持つ親同士が友達になったりするのはめったにないことです。
HL	他の子、親との交流を持ちたい。
HH	交換する場があっても、子どもが小さいとなかなか外出しにくい。
LL	親同士のコミュニケーションも大事だと思います。
LH	交換する場がなければ親は不安になります。
LH	あまり知られていないので周知を図る。
HL	仕事をしているとない。平日しかそういうイベントはないので。
LL	保育所入所前のはあるが、それ以降はありません。
LL	親同士が知り合い悩みを相談しあえるくらいまでになればいいのと思います。お互いに助け合える母親の仲間意識を高められるような。
LH	時間が限られすぎているので参加できません。
	【13. 子育てに対する悩みを相談する場】
LL	相談したくても何処に行けば、だれに言えば分かりません。
HL	自分の親に相談しています。

HL	窓口が保健センター等では、町が小さくて秘密厳守などありえないと思い、相談できません。
HH	外よりも家に相談員が来てくれると話しやすい。
HH	障害児の場も別に設けて欲しい。かなり精神負担有。
LH	1人1人相談、といってもゆっくり聞いてもらえないので。
HH	専門的な知識のある知名度のある機関なら相談したいと思う。親の精神面でのフォローをしてほしいと願っています。どんな小さな事で聞いてもらえるだけで楽になるから。
HH	相談する場があっても出向くのは大変。
	【14. 健康・病気予防・発達支援などに関する専門的な相談窓口】
LL	具体的に実施している場所等を広報すべき。
LL	保健センターでは行きづらい。
HH	子どもが自閉症で様々な集まりに参加していますが、専門的な窓口、特に医療機関の足りなさを痛感しています。
HH	病院が少ない。診断を受けて療育できる場所が市内にはほとんどないので他市まで通っています。療育できるところをもっと増やしてほしい。
HL	いつどこであるのか不明です。
HL	窓口が保健センター等では、町が小さくて秘密厳守などありえないと思い、相談できません。
HL	専門的なことを教えてくれる人がいません。
HL	小児科医不足のためか小児の検診でも内科医が診察をします。発達、体の面に対しても質問しづらく、小児特有の疾患や発育のチェックが必要だと思います。公費の集団検診は医者を選ぶことができないので、その時だけでも小児科医にしてほしい。
HH	障害児の場も別に設けて欲しい。かなり精神負担有。
HL	個人で抱える問題が違うので、専門的に相談できると安心。
HL	保健師が家をまわってほしい。定期健診でさんざん虫歯を言われたが、フォローがありません。
LL	歯みがき教室などにはありますが、子どもの病気についての話を聞きたいです。
LL	近くにあるといざという時便利だから。
LL	病気のときは医者ですが、病気予防や発育のことがあった方がいいと思います。
LL	小児科自体が少ない。夜間診療等都市部のみで緊急時の対応が不安。地方ほど、子どもの医療に関して、もっと積極的になって欲しい。
	【15. 子育てをしている親などに対する心のケアをする専門的な機関】
LL、HL	専門的アドバイスがもらえる場がほしい。
LL	あるかどうか分からない。
HH	時々疲れてイライラすることがあり、ストレスを感じるため。
HH	家庭内の問題で子どもが不幸になっている場合もあると思います。家庭、夫婦の問題を相談できるところが必要だと思います。
HL	親の自覚がない若い親も多くなっているような気がして。自分も含めケア&アドバイスがほしい。
HL	窓口が保健センター等では、町が小さくて秘密厳守などありえないと思い、相談できません。
HL	小さな悩みから相談（聞いてもらうだけでもOK）できれば、気持ちが楽になるので。
HL	心に余裕がないと良い子育ては出来ません。
LL	ゆとりのある子育て。
HH	外出はしにくいので、家に訪問してくれると助かります。
HL	話を聞いてくれるだけでもいいので、個別で利用できるような場を増やして利用しやすい形にしてほしい。
LL	専門的といっても相談しづらい気がするので、もっと身近で安心できるお母さんのような相談員の人なら話しやすいと思います。
LL	近くにあると子どもへの虐待が無くなるかも知れないから。
LH	子どもと親をトータルで見ってくれる機関があると安心するから。
HH	子どもが小さいときは保健師などに子育てのアドバイスをもらいましたが、子どもが成長するに従って、この叱り方でいいのとか、自分が落ち込みます。カウンセリングが気軽に受けられるところが良い。
HH	役所とかではなく、気軽に足を運べる場がほしい。重々しい感じの心象があるため。
	【16. 子育てを支援する職場の制度】
LL	制度はあるが使ったことを聞いたこともないし、使えない雰囲気。
LL	仕事と家庭のことは切り離されており、子育てしながらの仕事（勤務時間等）は厳しい。
LH	子どもの具合が悪くても休めません。決められた休み以外取れません。
HH	正社員に限らずパートにも適用できる制度があってほしい。
LL	日本はまだ父親の育児休暇をとる習慣がないので、職場の理解が必要だが、復帰後のことを考えると厳しい。
LH	あるが、細かく条件を見るとなかなか使えません。

LH	取りやすい環境がないため。
LH	休みづらい。
HL	正社員の人はあるかもしれないが、私のような非社員の人間にはありません。
HL	あることは知っていますが、実際には取りにくい。
HL	知らなかった。
LL	育児休暇はありますが、その後復帰してからは休みづらい職場、何も支援がありません。
LL	家族が病気になったときに、有給が取れる職場になってほしい。
HH	3人産む度、3回も職場を変えたので育休などあるといい。
LL	子の看護休暇があっても年休で休むようになってしまっているため。
LL	あっても同僚の理解が乏しいと使えません。
LL	核家族の場合、子育て中心（パート勤務）で勤務する以外選択の余地はない気がします。
LH	制度はあるが利用しにくい。
LL	公務員等は育児休暇等があっても一般の会社では認められません。
LL	正社員、パート、中小企業問わず、何の気も遣わず、堂々と利用できる様にしてほしい。
LH	男性が多いためか、もともとそのような対応がなされていない、言い出しにくい雰囲気があります。
LH	実際は子どもを理由に休んだりすると、嫌な顔をされたり、査定に大きく影響しています。
LH	町全体が昔的考えであるので。
HH	子どもが突然熱を出した場合でも、職場の人数不足のため止むを得ず出勤しました。
HH	男性も休暇を取る事に対する壁をなくしたい。
HH	行政で積極的に取り組んで欲しい。
	【17. 子育て中の職業能力開発訓練に対する助成・優遇】
LL	保育との関係がうまくいかなければ、助成されても行けないでしょう。
LL	これに関しては子どもを預ける場を確保してほしい。でなければ出かけることも出来ないのです。
LH	子どもを見てくれる人がいなければ何も出来ません。
HH	再就職するのに時間がかかるため。
LL	育休中の研修参加などの機会があればと思うのですが。
HH	現実には子育てを支援してくれる職場など私の求職探しからは皆無。それどころか面接のとき必ず「子どもが病気の時会社を休むのか？」とか「子どもをどうする？」とか質問されます。保育園児を持っている母親などに仕事はありません。
LL	地域性もあると思うが、核家族への理解が貧しい。
HH	子育て中は忙しく、そのような場があっても行けません。
	【18. 子育て後の再就職支援】
LL	子どもが幼いだけで嫌がる職場はまだまだ沢山あります。
LL	今のパートの仕事を探すのにも大変でした。特にシングルマザーには大変です。
LL	産休後復帰はしたけどパートになってしまった。第3子も仕事のことを考えるとためらってしまいます。復帰後4年たってフルタイム。
LL	再就職をするにも年齢制限があり、なかなか難しいのが現状です。
HH	本当ならば出産しても同じ仕事を続けられることが一番良いと思います。
LL	子育てのために仕事を辞めるとその後がとても不安になります。
LL	小さい子どもがいると、雇ってもらえません。
HH	小さい子どもがいると断られることが多い。特に病欠があるため。
LL	一般企業の育休制度に広がりがあるといいですね。
LL	安心して子どもを産み、育てられるようにしてほしい。
HL	子どもがいるとなかなか採用してもらえない。母子家庭はなおさら。ハローワークでもなかなか仕事を紹介してもらえません。
HL	現状、育休をとれる企業は少ない。小さい子の場合、「誰が病気の時看るの？」と必ず面接で言われます。
LH	働き口があっても子どもを預けられる施設が少ないために、就職できないのが現実。
HL、HH	子どもが小さいという事で、再就職できませんでした。
	【19. 保育料軽減・減免制度】
LL	なぜか母子家庭にもかかわらず保育料を払っています。母子家庭は無料だと聞いていたのに。
LL	生活費が大変なので仕事しているのに保育料が高い。
LH	子どもを育てていく上でお金がかかりますのでぜひ。
HH	仕事を増やしたりして収入が増えると保育料も高くなり、何のために働いているのかと思うことがあります。
HH	子どもを預けるために働いているくらい、高すぎると思います。
HH	小学校はお金がかからないのに、保育園はどうしてかかるのですか。

LL	児童手当ははっきり言って意味がないと思います。児童手当5,000円をもらうなら、医療保育の充実にお金をかけてほしい。
LL	年収によって決まるが、もう少し保育料を軽減してほしい。
LH	少し収入が増えたと、保育料がかなり上がるので。
LH	同時に通うのではなく、3人目は半額とかであれば良いのでは。
HL	保育料は決して安くないのでこのような制度はありがたいと思います。
LL	月々なにかと集金袋を渡されるので、保育料を下げてくれるのはいいことだと思います。
HH	2人目半額、3人目無料の制度は、あり難かったです。
HH	保育料が月給の1割取られるので、生活が辛くなります。
LL	生計を共にする者の所得で判断してほしいです。いろいろな事情があって別居等されている場合もあるのではないのでしょうか。
HL	預けたいのに高くて預けられないのが現状。
HL	無料でも良いのでは。
LL	保育料は減ったけどまだまだ高い。
LL	子どもを産みたいと思ってても育てていく上でお金の心配がどうしてもあると思います。こういう事がもっと充実してくるとすごく助かります。
LL	全て無料に出来ると思います。
LH	むしろ中には仕事をしていないのに預けていて、自営のため安く保育料を済ませている方もいるそうなので、本当に必要な人とそうでない人を見極めていただきたい。
LH	誰にでも分かるように説明してほしい。高すぎだと思うので。
LH	どんな申請をすれば良いのか教えてほしい。
HH	2人目以上の保育料の減免があるが1人には意味がありません。
HH	少子化に歯止めをするためにも、親の負担を少なくしたほうが良い。
HH	家計の中でも保育料を払うことって大変。もっと安くなってくれば。
HH	1～2週間など長く休んだ場合、前もって連絡しているので、保育料をその分、減額して欲しい。
HH	保育料が高すぎ、働いてもみんな保育料に出してしまう。
	【20. 子どもに対する医療費助成制度】
LL	小学生無料化を希望。
LL	すごく助かる。子どもの医療費はしょっちゅうかかるから。
LL	福島市の様に小学生も医療費を無料にしてほしい。
LH	全国どこでも誰でももらえるようにしないと子供は皆産まないと思います。
LH	中学卒業までなので安心して通院させられる。
LL	児童手当ははっきり言って意味がないと思います。児童手当5,000円をもらうなら、医療保育の充実にお金をかけてほしい。
LL	小さい子どもは病気になりやすいので助成制度は必要。
LL	制度を中学生まで上げてほしい。また、インフルエンザなど予防接種の補助も考えてほしい。
LL	お医者さんにかかる回数がとても多いので、診療費がかからないのはいいです。
LH	小学校入学で終わってしまうので、その後不安です。
HL	安心して医療機関にいけます。
HL	現在の制度を維持してほしい。
LL	子どもが小さいとすぐに病気になるので、せめて小学校終わりぐらいまでは、医療費が助成されればと思います。
HH	子どもが小さいうちは病気をしがちなので、10歳くらいまでにしてほしい。
HH	自治体により差がありすぎます。県費で分配を。
LH	年齢の引き上げ希望。
HL	地域によって違う。未成年は無料で良いのでは。
HL	助成する年齢を高等学校までに上げて欲しい。
LL	子どもを産みたいと思ってても育てていく上でお金の心配がどうしてもあると思います。こういう事がもっと充実してくるとすごく助かります。
LL	医療費が無料であることは、とても助かっています。
LL	無料は助かりますが、前年度に払う保険料が高いと思います。払っている額より、通院している回数は少ないと思います。
HH	入院した後の手続き等が面倒なので、お金が返ってくるなら、最初から払わないほうがよい。
HH	就学までだと3月生まれの子は損した感じです。できれば年齢にしてほしい。
HH	今のところは充実していると思います。
HH	乳幼児の医療費はぜひ小学生まで無料にしてほしい。
	【21. 児童手当の支給】
LL	安すぎ。

LL	拡大してほしい。
HH	お金がかかるのでもっと増額してほしい。
LL	第2子、第3子は月5万とか、そのように大きい何かをしないと、地元に住住しない。
LL	児童手当ははっきり言って意味がないと思います。児童手当5,000円をもらうなら、医療保育の充実にお金をかけてほしい。
LL	2歳未満、月1万円となりましたが、年齢をあげてほしい。
HL	医療費に使えるのでとても大事です。
HL、HH	増額。
HL	中学生までとか、金額を多くしてほしい。
LL	もっと年齢を引き上げて支給してほしいです。
HH	金額増加より、支給期間を延長してほしい。
LH	支給額のアップ、物価アップと比例してほしい。
HL	月額5,000円では何の足しにもならない。子どもが成長すればするほどお金がかかります。
HL	オムツ代にかなりません。
LL	第1子から1万円にしてほしい。
LL	はっきり言ってオムツ、ミルク、大きくなっても費用は支給額でははずめの涙かなと思います。日本をしょって立つ子どもにお金をかけるべき。老人ばかりとすることがあります。
LL	3人目以降ではなく、1人目から一律に同額支給がいい。
LH	これも医療費助成制度と同じですが、少子化の今、長めに設定してもらえるのはありがたいです。
【その他】	
保育料も一律、児童手当も所得制限なしに支給するべし。保育料最高金額を支払い中、児童手当は対象外です、不公平！一生懸命働いて高額な市県民税を支払っているのに!!税金を納めない人が手当支給、保育料が安いのは納得いかない、働く意欲がなくなります。	
保育料が今年度から上がりました。法改正により所得税が上がったので、と言う話だったが、年収が下がっているのに保育料が上がるなんて納得できません！1円、2円を大切に暮らしているのに。	
・公共の機関は支払うものがあれば矢の催促。しかし助成してくれるものに関しては殆ど知らせてくれません。もう少し情報をオープンにしてほしい。 ・子育て支援「主婦」だけでなく働く親にももっと情報を提供し、そういう場を作ってほしい。必死で働き育てているというのに。無職で優雅に育てているのを見ると辞めた方が良くのかと思います。	
地元若者が定住し、子育てしやすい環境を作っていけないと、人口が流出するばかり。第3子がほしいと思っても経済的に負担が大きいためらってしまう人もいます。私の近所は親と同居している人はほとんどいません。生活のしやすい地域に移住してしまい、子どもの遊び相手もいません。出て行ってしまった人がUターンしてくるような地元の人も生活しやすい政策をしてほしい。	
小学生のうち、できれば中学生まで医療費を免除してもらいたいです。	
障害に関する相談では「ひよこ教室」がとても助かりました。先生はどの方も熱心でとても悩んでいたときに助けていただきました。	
子どものいる家庭（障がい児・健常児）は何かとお金がかかるので、特に障がい児のいる家庭はもっと児童手当を増やしてほしいです。いろいろと大変なんです。	
子育てにはお金がかかります。	
地元企業はあまりにもひどかったです。育児休暇後出社すれば、育児休暇をとった者は職場異動。あげくのはては子どもの具合が悪いので休みたいと申し出れば、来なくていいなど平気で言いました。この会社と自分の子どもを比べ、自分で育てられない会社はやめました。こんな思いをしているのは私だけじゃありません。どんな子どもも育児休暇で休んでいるうちは、スクスク育ちます。1年後、会社へ復帰するため保育所へ入れたところから風邪を引くのです。お金（5,000円）をあげればいいのかじゃなく、子育てしやすい企業を目指したりする事の方が先じゃないですか？きっと、この文章を読んで下さった方の中には、同じ思いをする人がいると思います。	
常識のない親が多すぎる。	
村には自然が沢山あり、広々としていますが、市内や団地にあるような公園が1つもなく、幼稚園まで行かないと、滑り台やブランコなどがありません。散歩できるような公園があれば良いのですが。「公園デビュー」なんて、ありえないことです。	
私は仕事をしているので、保育所に預かってもらって仕事をするので、なくてはならない場所ですが、仕事についていなくても預けられる保育所も必要だと思います。子ども同士の付き合い、親同士の付き合いを通して、ニュースでよくあるいじめや虐待がなくなるといいので。	
町の保育所では、“午後3時になると帰りの支度（帽子、カバン、上着等）をして教室でビデオを見ている”と、母友達から聞いたことがあります。5時に迎えに行く親なら、その子は2時間も帰り支度のまゐるわけです。人として不自然な姿だと思います。	

保育所に預けて仕事復帰しましたが、子どもの病気が多く、会社も休みが多かったため、いつクビになるかと思いつながらの両立でした。保育所にも会社にも謝ってばかりで辛かった。保育所は働く親のサポートではなく、昔のパートの時間（9：00～15：00）に合わせた時間を基本として延長保育も行なっていますが、あまり良い顔はされず子どものことを一番に考え早く迎えに来いと言います。サラリーマン家庭は共働きしないと生活していけないので、働く親に対して町長からも理解が得られないのはとても厳しいです。（地域的に親と同居の人が多いためかもしれません）
母子家庭ですが、必死に働いている人が一定収入を超えたからといって減免してもらえず、たいして働かずにいる人が手当てをもらえていたりするのは絶対おかしい。これこそ公平性がない。それと、祖父母と同居しているからといって必ずしも援助を受けているとは限りません。祖父母の収入まで関係してくるのは本当におかしい。差別としか考えられず、この制度にあきれています。
保育料軽減・減免制度について。前年度所得で保育料が決まるようですが、昨年離婚し、母子家庭となり、月収が10数万円となり苦しい生活の中で月々保育料36,000円はとても痛手でした。「両親と同居しているから」がその理由でした。同居していても援助を受けているわけでもないのに、この金額はおかしいと思いました。
昨年母子家庭となり、実家へ戻りフルタイム勤務をしています。母子家庭となり、まず感じたことは「社会は弱者には厳しい」という事です。収入もあり共働きの家庭は子育てにお金もかけられますが、私は生活するのがやっとです。市のサポート対策も充分ではありません。まず、病中、病後保育の不足。札幌市では幾つかの病院が病後保育を行っており、登録し手続きをすれば1日2,000円で預かってもらえるシステムがありました。また、スウェーデンやいくつかの国では学校が無料で貧しい家庭でも教育が受けられるところもあります。もっと外国、他の県など先進国から学ぶべきことが沢山あると思います。生活格差が教育格差にならないようにすべきです。未来の子どもの将来がもっと良い未来だといえます。
夜間（夜7時頃まで）利用できるような図書館や体育館のような場所の一般への開放（月1～2回程度）希望。
私の場合、母子家庭な上に、実家もいろいろあり協力してくれる人がいないんです。こういう私みたいな方って結構いると思うんですが。こういう環境少しでも良くなってほしいです。田舎ってどうしても実家で見てくれると思われがち。以前の職場で私が仕事のとき、子育て支援サポートで見てくれる方を探して、そういう方に見てもらっているといったら、周りから変な目で見られました。
日常生活にかかる費用が多く、現在生活しているのがやっとの状況で、今後子どもを産む事が出来ない。児童手当等の給付を増やしてもらうと、もっと産み育てやすいのではないのでしょうか。
自費の個別検診は医者を選ぶことが出来ます。市など公費の検診のときくらいちゃんと小児科医の検診にしてほしい。内科医では心配だという事と、ちょっとした子育てや病気のことを質問しても参考にならない返答が返ってくる、それは小児科医でないため、小児を見ていないから分からないのだと思う。そういった医者に大切な子どもの検診は出来ないだろうし、いくら小児科医不足だといっても、検診時くらいなんとかしてほしい。
子育て支援という乳幼児期や低年齢時のことばかり取り上げられますが、僻地では高校進学の際の負担が大きい。高校選択も限られ、これではますます都市との格差が広がるばかりです。義務教育とはいえ、今や高校に当たり前に行く時代に、住む場所によってこれほどの差が出るのは教育を受ける権利を侵害されているのに等しい。経済的支援を含め、学生寮の建設等、積極的に検討していただきたい。幼稚園の無料化などは、誰も望んでいない、税金のムダづかい。
私は正社員で勤め、10年目に3人目の出産のため産休を取りました。産休中、電話により忙しいので出勤するように会社から言われましたが、長男がインフルエンザにかかり、生後1ヶ月の新生児を80歳の祖母には頼めず協力することが出来ませんでした。そしたら、会社から、職場復帰してもまた子どもが病気になったら休まなくちゃいけないだろうから、パートになりなさいと言われました。少ない給料でも連れ子をした私の長女の学費や生活費は夫は協力してくれず、パートになることはできませんから、強気で常務に抗議して、なんとか正社員で復帰することが出来ました。本当に女はこういうとき、弱い立場です。
山や川を手入れする人が減り、自然の中で遊べる場所がなく、お金を出不さいと安全に遊べなくなってきたと思います。もっと節税をし、自然の手入れにお金をかけたほうがいいです。
病児保育があれば本当に安心して働けます。まだ小さく口の利けない子を預けているので少々熱でも迎えに来るよう連絡が入ります。仕事場も遠く、急いで帰り万一事故にでもあったらいったい責任はどこにあるのでしょうか。学校には保健室があるのに、保育園、幼稚園の中に絶対必要な保健室がないのが不思議なくらいです。保育園は両親共働き、母子家庭そんな方々が入所しているはず、働かなければ食べられない、そこをもっと理解すべきではないのでしょうか。
町の保育所体制がなってない。先生は、子守るのが嫌なのか、すぐに子どもを帰らせようとし、ひまさえあれば熱はかりをしている。そんなことしてるなら、子どもに本でも読んだ方がましです。保護者にアンケートでも取って、保育所に言いたいことを出したほうがいいのでは。こんな保育所では仕事ができない。もっと考えてほしいです。早期に何とかしてほしい。
私は子どもが3人いますが、何かとお金がかかります。施設の利用料、習い事や教室の費用など、2人目、3人目は少しでも割引になればよいと思います。
とにかく保育料が高い、高すぎる。
派遣社員なので2人目が欲しくても産後の仕事がないので、経済的なことを考えると、なかなか子どもを産めない。
障がい児を預ける場所が少なすぎて職場復帰が難しい。看護師のいる施設を増やして欲しい。市には就学前に預けられる所が1箇所しかない。

仕事をしていないと保育所に預けられない。仕事の面接をするのに預けられない。仕事が決まらず3ヶ月以上無職だと退園と言われましたが、小学校就学前の親には何も言わない。差別でしょうか。
医療手当ををもっと高学年まで引き上げてほしい。
子どもに費用がかかるので親の負担を少しでもかからないよう、保育料軽減と児童手当の延長と支給を上げて欲しいのです。
以前よりいろいろと優遇され改善されていますが、2人以上産む気にはなれません。保険料等を納めると給料が少ないので厳しい。実際、子どもの病気で休みばかりだといひ顔されないのが現状。
小学校低学年時、放課後教室等今のところないので、今後の仕事の仕方を考えてしまう。福井県のように、全国に誇れる体制を望みます。
うちの場合、姑が高齢のため子どもが産まれた時は大変でした。せめて夫の会社で少し早く帰宅させてくれれば良いと何度も思いました。男の人の子育て支援があるといいと思います。
医療費の助成の拡充は、早いうちに中学生または18歳以下までなどにしてもらいたいものです。病後児保育や休日保育、学童保育なども働いている母親としてはあってほしいです。
・一般の会社と公務員等の格差は、育児休暇や産休にもあらわれていて、予防接種等で休むにも給料等にはっきり影響します。 ・一般の会社にも、もっと理解していろいろな制度を導入してもらいたい。
子どもを保育所に預けられるようになって、仕事ができなくなるととても困ります。社員になれる会社はほとんどなく、収入が少ないので、もう少し再就職の支援をしてほしいものです。
地方ほど保育や福祉・医療が遅れていると思います。老人ばかりでなく、もっと子どもや若年層にも目を向けるべきです。生みたい・育てたい町と魅力ある町であってほしい。公立・町立は建物も立派でも中にいる職員が良くないです。もっとフレッシュな人材を望みます。
フルタイムで仕事をしていると、保育所（お友達が沢山出来、生活のリズム、習慣がしっかりしてよい）に預けることとなり、ベビーサークルやわんぱく教室といった平日に行なわれる交流の場に参加できません。かといって、土・日に開催されても用事があり、参加が難しいのが現状です。ただ、保育所の行事に参加することで、補われているのかなとも思います。
地域で子育てをできる環境作りをしてほしいです。周囲の温かい目が自分への頑張りにつながり、子どもの成長に強く影響するように思います。
仕事と育児の両立には、家族のみでなく、各方面からの協力が不可欠であるということが身にしみて分かりました。福島は子どもの出生率が高い県でもあります。親にとっても子どもにとっても住みよい県であると言い切れるように県民も努力していく必要がありますね。
子育てに対する環境が良い職場ではなかったため、2人目を出産するときに退職して、すぐに違う仕事をしようと検討していましたが実際には難しい状況。保育所にも入れられなくて（下の子）、生活費も仕事をしないと間に合わないほどで、親子で引きこもりがちです。一時保育などの情報があれば、子育て家庭にチラシなど配布してほしいです。役場、保健センターなど相談しても何も解決にならないので。
町の保育園の質が低い。古い先生ばかりいて、昔ながらすぎて現実とのギャップを感じる。
出産の一時金など増額してほしい。
実際の家庭内、子どもの様子はなかなか伝わらないと思います。私の子どもは、発達障害で、アスペルガーADHDです。小さい頃からおかしい。ほかの子と違うと思って保健センターの健診のときに話したけど、愛情を持って接してとか、男の子だからうさぎのは気にしなくてもいいという答えしか返ってきませんでした。今は、MMサポートセンターで、特別教室に週1回行っています。もっと、こういう専門的な機関や先生方の知識など必要な時代だと思います。しかも、お金も保育園の他に1万1千円もかかります。時間もとられ、送り迎えの分仕事ができません。普通の子どもを持つ方は分からないと思いますが、かなり大変です。これからの子どもの成長のためにも、いい市町村にしたいと思っています。そして私の住んでいる所は、こういうことにかかる予算が少ないと聞いています。そのへんもよろしくお願いします。
児童手当は所得に制限がありますが、子育てしているのは皆一緒に所得は関係ないと思います。児童手当は皆平等に支給されても良いと思います。せめて中学校くらいまで支給されるとありがたい。
一人親の申請方法が医療費助成制度のように手続き方法を簡単にしてほしい。
雨など降ったときに遊ばせることのできる屋内施設がない。雨が降ったときは、大変困っている。
保育料は所得によって決まりますが、いくら所得があるからといって生活が裕福とは限りません。色々と家庭の事情があります。月に続けて1週間など長く休んだ場合、その分を差し引いた保育料にしてほしい。親も休んだ分収入は減るので、大変です。
あることは知っていても、地域にない。金銭的余裕のある家庭との教育格差。
産前6週、産後8週の休暇と、育児休暇1年をつなげて、事業主に対して義務化してほしい。また、出産を理由に減給、解雇されないように守って欲しい。
少子化といわれている今、沢山子どもを産んでも、安心して育児・仕事を出来る環境にない。親のいろいろな負担（メンタル面、経済面）を軽くして、もっと子どもを産んで育てる環境を作ってもらいたいと思います。

問8 子育てをしているなかでの楽しみ・喜びなどを具体的に記入願います。
子どもの意見や意思を尊重しながら会話することができるとき、自分の知らない世界の話をしてくれるとき。(保育所での出来事や外出中の話など)
子どもの成長を見ると、あまり手をかけてあげられないので、出来なかったことが一人でできる様になっていると、すごいと思う。
子どもの成長を見るのはとても微笑ましい。でも日頃はなかなか穏やかな気持ちで楽しみや喜びを感じられません。教育・育児にはお金がかかる。だから、仕事を頑張らないといけない。だから、子どもと接する時間がなくなる。
子どもの喜ぶ顔を見たり、無邪気な言葉で和ませられることも多いです。
子どもが今まで出来なかったことが出来たときは忘れられません。初めて自分の名前を言えた時、初めてトイレでおしっこが出た時、怖くて入れなかった海に入れた時は昨日のことに思い出されます。
ある程度の年齢になっての子どもですので、周囲から見ると心のゆとりがあるように思われています。毎日の些細な子どもの変化を、父母共にこのままで、このままでと願いつつ見つめています。仕事で大変な思いをし、子供の笑顔で救われている者の一人です。
子どもから教わることが多くあって、今まで気付かなかったことを気付かされることがあります。一緒に成長していると感じる事が出来て、子どもってスゴイと思います。
保育所での出来事や家庭で出かけたことをいつまでも覚えていて、沢山お話ししてくれること。今まで出来なかったことができるようになったこと。「ママ、大～好き（ハート）」と言ってくれる事。
年齢は重ねていても子育てはまだ未熟者で、毎日反省することの多い親ですが、しかっても寝るときは「お母さんとねんね」と言われると、この子の親になれてありがたいと感謝しています。子どもの笑顔と寝顔が生がいです。
昨日まで出来なかったことが今日出来たり、その達成感を親子で喜び、日々変化する子どもの成長が嬉しいです。
子ども達が保育園やうちで書く絵の中に必ずといっていいほど“ママ”の絵が描かれています。仕事で忙しくあまりかまってあげられずストレスでつい怒ってしまうことが多いのに、子ども達はちゃんと自分のことを愛してくれているんだなあとと思うと、本当にとっても嬉しく思います。
日々の成長が一番だと思います。
子どもを持ったお陰で子どものいない人には参加できない場に（保育所の行事、遊び場）行ける事。保育所と家族の協力でお産前と変わらずに仕事が続けられている事。
子どもの日々の成長、発達を発見すること。例えば、言葉が単語から一語文から二語文から文章と進んでいくこと。意思の疎通ができるようになったこと等です。でも、一番の幸せは寝顔を見ることです。
やはり子どもの成長を目のあたりにし、実感したときだと思います。それと、家は主人を病気で亡くしているので、もし子供がいなくて一人だったらと考えたときに、楽しみとか喜びとは違うでしょうが、「子供がいてくれて良かったなあ」と思っています。
子どもの笑顔、成長。
成長するにつれて出来ることが段々増えてきて、子育てが楽しくなりました。言葉も増えて、会話ができる様になり、親としてとても嬉しいです。
3番目がお腹にいて今月生れますが、2番目の娘がすぐお腹に手を当てて「キックしたよ」とか「お姉ちゃんだよ」とか生まれてくることを楽しみにしてくるのが嬉しいです。子供がいるお陰でお母さん友だちも出来たし、昨日まで出来なかったことが今日出来るようになって、そんな姿を見るのが楽しいです。「生んでくれてありがとう」と2人の娘から言われたことが一番の幸せです。
子どもの表現力（特に言葉での）は大人の言葉よりもすごく心にしみる、心打たれる良い言葉で表現してくれるのでとても勉強になるものです。私や家族の手伝いを自分から進んでやってくれるので助かっています。
共働きのため平日はとても忙しいのですが、子ども達にはとても癒されていると思います。子どもの笑顔は素晴らしいです。保育園では先生が毎日その日の様子を連絡帳に書いてくれます。保育園の行事も毎回楽しく参加させていただいています。
毎日小さなことだが、いろいろなことができるようになる様子を見ていける。夜寝ていること、私の体を触って寝ている姿に、愛しい気持ちになる。
子どもの成長です。上の子がしたの子の世話をやいている姿を見ると、やっぱり兄弟は良いな、と思います。また、熱を出している子に、アイスノンや冷えびたを用意してあげたりする姿を見ると、嬉しく思います。1歳の子も、姉達が具合が悪いときは、大好きなおもちゃを持って行って心配する様子が見られます。どの子も良い子で、個性的です。
子どもが大きくなるにつれ一緒に楽しめることが増えてきて、これからますます楽しみです。仕事をしているのでなかなか一緒にいれる時間が少ないですが、ママと慕ってくれるのはやっぱり嬉しいです。
3人の子ども達と一緒に遊ぶ姿や、下の子を助けてあげようとしている姿を見ると幸せに思います。まだ一人くらいはほしいと思いますが（もちろん上の子達はほしいと言っています）。子ども達がいてくれるだけで家の中が明るくハリがでます。
子育てをしている中で一番は笑顔です。子どもが楽しい嬉しい表現をしてくれると、親も何でも頑張れますから。あとは何よりも健康が一番、何でも食べ、よく遊び、よく笑うのが一番の幸せです。

子育てしながら仕事をするのは大変ですが、仕事が終わって迎えにいくと、笑顔で迎えてくれるのが嬉しいです。病気のときが大変ですね。小児科の病後児保育を利用していますが、とても助かっています。このような支援が身近であればいいと思います。私は3人の子育てが一番楽しいです!!
忙しい毎日を過ごしているけれども、子どもの成長、日々の姿を見ているとそれで癒される部分があります。(自分がイライラしているとき、子どもにきつい態度をとってしまうので反省しています。)
今まで出来なかったことが急にできる様になったりすると(トイレトレーニングなど)、子どもの成長を感じることが出来、嬉しくなります。
子どもが元気に遊んで笑っているのを見守ったり、何かに挑戦してなかなかできず、くやしくて泣いたりしながらも頑張っている姿を見て、自分も頑張ろうと思います。子どもたちの幸せや喜びが自分の行動につながります。炊事、洗濯、その他、子育ては子どもがいるからやれます。子どもがいないと適当になったり、疎かになると思います。家族がいることは幸せなことだと思います。
子どもの笑顔を見ること。これからの成長を見ていくこと。
日々成長していること。自分だけでなく、他の人との関わりを通して生き生きとしている姿を見ているとき。
子どもの成長(心と体)を実感できたとき主人も笑顔になります。最近、3歳の娘が脱オムツ中なので、トイレが上手に出来たときはうんと褒めてあげて本人も私もニコニコになります。寝る前の子守り歌をリクエストしてくるのがとても可愛いです。「○○○うたって」と言われると、自分が眠いのも忘れて歌ってあげたくなります。
正直なところ、子どもが病気になったり、夜泣きをしたり、苦しみも多いのですが、子どもが新しいことができる様になったり、言葉を覚えたりといった毎日の成長が楽しみ喜びです。また、子育てを通して、人との付き合いが、社会とのつながりが増えていくなど、自分の成長にもつながっていくことが喜びです。
子どもの成長を見るのが何よりの楽しみです。日々、言葉を覚え、理解し、忙しい生活の中で大きく成長していく姿は心の支えです。
現在、保育園を利用していますが住んでいるところにはないため、隣の町まで通っています。早く近くにも出来ることを望んでいます。ですが、一日の出来事を考えてくれるときは嬉しいし、日に日に成長しているのを実感しています。
子どもが元気に外で遊び、自然に触れあい、いろいろなことを吸収して大人になってほしい。心の痛みの分かる人になってほしい。やっぱり子どもの笑顔が一番の宝物です。その笑顔がなくなったら、それは悲しいことです。
子どもが教えていないのにいろいろな事をできる様になっていたり、親のことを心配してくれたりなど、子どもは子どもの目線で見ていろんな事を学んでいるんだなあ毎日楽しいです。どんなに毎日怒っていても、やっぱり子どもは可愛いです。保育所に行ってからとはとても成長しました。
1つずつ出来ることが増えてくること。言葉が一つ増えること。私を母と思い、頼ってくれること。
仕事で疲れていても、自分を見て笑ってくれるとき。少しずついろいろなことができる様になっていくのを間近で見られるとき。
どんなに仕事やその他が大変でも、子どもの「お父ちゃん大好き。お母さん大好き」の一言で忘れます。毎日怒ったり騒いだりもしますが、やはり血肉を分けただけあって、子どもは親の足りないところや至らないところを補ってくれる存在だと思います。なんだかんだ言っても毎日とても楽しいですよ。
成長していく姿が嬉しい。
保育所での出来事を教えてくれます。保育所が大好きで、いつも元気に通っている姿がすごく私に元気を与えてくれます。親ばかりといわれますが、母一人、子一人のせい、か、すごく素直に育ってくれていて、うれしく思います。(女の子)
子どもを連れての外出。子どもの成長。
できなかったことができるようになったのを見た時や、一緒に過ごしている中で、他人を思いやる言葉や行動を見たとき。思いっきり笑っている顔を見られるとき。
一つ出来ることが増えたとき。笑顔で1日の出来事を話してくれているとき。
日々成長していく子ども達を見ることがとても楽しい。1つずつ行動や言葉が増えるたびに感動しています。
子どもの成長がとても楽しみです。食べむらがあるので沢山食べてくれると体調も崩さないのが嬉しいです。熱ばかり出すので、元気ならそれで良いです。
子どもの成長(心も体も)が楽しみです。
子どもの成長、保育園行事の参加などで、子どもが元気に楽しく遊んでいる様子が見られること。生活の中で、一緒にいられること。
子どもの成長が一番の楽しみであり、成長を感じるときが喜びです。
子どもの成長が何より嬉しいです。それに何よりの宝ですね。
大きくなるごとに頼もしくなって手伝いなどもしてくれます。いろいろな映画と一緒に見たり、海に行ったり、遊びに出かけたり、沢山のことを一緒に出来るのはとても楽しいです。成長していくのを写真で沢山残してあげたいです。これからいろいろ大変になりそうですが、それも大きくなっていくためなので、頑張りたいです。
子育てして大変ですが、笑顔や子どもに教えられたりすること。子どもと一緒に成長してゆくこと。家族との絆。

出産をする前は楽しみと不安とそれぞれありましたが、子育てを始めると笑顔を見る度、喜びも大きく、不安はそれほど感じません。歩行できるようになったり、言葉が出る、親と対等に話ができるようになる、など様々な成長を感じる度、喜びを感じ、子どもの大切さ、愛おしさを実感します。
子どもの成長が楽しみです。
笑顔でのびのび、楽しんでいる姿。汗を流して両手を振り上げてキャーキャー遊ぶわが子を見ると安心します。
子どもの成長をふとしたことで感じたとき、とても嬉しく思います。また、疲れていても、赤ちゃんがニコツと笑ってくれと、どんなにつらくても、癒されます。この笑顔に頼りに、日々頑張っています。
日々の成長を感じることが出来る。
子供がいることで頑張れるし、成長していく姿を日々楽しみにしています。
今まで出来なかったことができるようになって子どもと一緒に喜ぶことが出来たり、保育所での生活を教えられる（話してくれる）ことが、毎日の楽しみになっています。
仕事をしながらの子育ては大変です。しかし、家族に支えられながらこれまでやってこれたこと感謝しています。子ども達も本当は家にいたいのではと考えたこともありますが、特に大きな病気もなく、元気に成長してくれました。子ども達にも感謝です。成長と共にやりたいこと、目標が出来、それに向かって頑張っている姿を見ると、これからがまた楽しみになってきます。
今まで出来なかったことが、知らないうちにできる様になっているとき。笑顔。
保育所の行事などを通して、子どもの成長を感じたとき。また、子どもと共に旅行をしたり、遊んだりして、十分に子どもが喜んでいる姿を見たとき。
子どもの成長。
子どもの成長が一番の楽しみです。3人いれば、3人とも違う性格で、悩みもバラバラですが、それが自然なこと、とても楽しく感じるようになりました。保育所や学校行事も3倍参加でき、楽しみも3倍なので、忙しい中も楽しい日々と思います。
毎日いろんなことを教えてくれたり、親の手伝いをしてくれたり、いつも笑顔で親を癒してくれる。そんな明るい子どもといえると楽しいし、これからが楽しみです。
3歳と0歳の子がいますが、「自分でやる」「できたよ」と教えてくれるときの子どもの目がキラキラしていて大好きです。自分以外の子とまだまだ仲良く遊ばず、叩いてばかりいるので、毎日怒ってしまいがちですが、お話をしてくれたり、「～なんだよ」「～しちゃダメ」と子どもに言われると、マネされていると思うつ、子どもの気持ちを知ることが出来ると嬉しいです。そして下の子の面倒を見てみると、「○○ちゃんおいて」とやきもちを焼いたり、○○ちゃんが泣いていると、「泣かないで、やさしい、やさしいするの」とお腹をなでている姿を見られることが、今一番の幸せです。
何かあっても、いつまでもよくよしてない子どもの笑顔を見て、自分も前向きに考えられるようになり、子どもに親にしてもらっています。毎日、忙しくて大変ですが、子どもと一緒に大笑いし、あっという間に一日が過ぎてしまいます。
1つ1つの成長。元気一杯保育所で過ごしてくれていること。私自身子育てに未熟ですが、今まで大きな病気もせず毎日元気に育ってくれていることです。
日々成長していて保育所から帰ってくるとたくさんのことを覚えています。いい事も悪い事もありますが、団体生活に慣れるという事がとても大事だと思います。
2つ違いで男の子が2人なので毎日怒らずにはいられません。でも、今が一番「おかあさん」って甘えてくる時期だし、大きくなると友達とかと遊ぶことが多くなるだろうし、今たくさん子どもたちと遊び、楽しんで行きたいと思っています。
子ども達が兄妹仲良く遊んでいるとき。2ヶ月前から新しく仕事を始めたのですが、初日に仕事を終え帰ってきたら、長男が「よくがんばったね」と言って、子ども部屋に私を連れて行き、運動会でもらったメダル（“がんばりました”と書いてあるドラエモンメダル）を私の首にかけてくれたこと。
子どもといことで、慰められたり、励まされたり、喜んだり、とても楽しく思います。心の素直さに胸が打たれます。
仕事をしながらの子育ては、子どもに淋しい思いをさせてしまい申し訳ない気持ちになりますが、その分、一緒にいられる時間が、とても幸せに感じます。歌を歌ったり、遊んだりしているときは勿論ですが、何気ない会話の中でも笑顔を見られたときは本当に嬉しくなります。「ママ大好き！」と抱きついてきた時は、最高に幸せです。抱き返す力がついて強くなり、「痛いよ」と言われてしまうこともあります。本当に子どもはかわいいと思います。
孫には良いことをしたときは、とてもほめてやり、悪いことをしたときは、きちんと怒ります。親と同じ気持ちで育てています。
定期健診での子どもの発育ぶりには、日々成長したなあと感じている以上に「順調ですよ」の言葉に大変喜びが増します。保育所へお迎えに行ったときの子どもの笑顔に日々の疲れも飛んでいきます!!
日々の保育所からの連絡ノートや祖母から聞く子どもの様子。何と言っても子どもと一緒にいる時間が幸せ。
子どもは仕事で嫌なことがあっても、それを忘れさせてくれる天使のような存在です。子どもがいるから毎日頑張れます。車の中で1日の出来事を聞くのがとても楽しみです。一緒に考えたり、悩んだり、笑ったり。
今まで自分ひとりで出来なかったことができる様になったとき。また、子どもが笑顔でいるとき。「ママー」と抱きついてくるとき。子どもに自分が必要とされているとき。

一緒にいるときの会話の中で今までにない事を言う成長ぶりや、姉弟がケンカしてたのに次は仲良く笑いながら遊んでたりすると嬉しい。
子どもの成長。
子どもと触れ合う中でまだまだ幼いと思っていた子どもが、思いやりのある行動をとったり、お手伝いを進んでしてくれたりすると成長が感じられとても嬉しいです。近所に子どもが少ないが、私よりも先輩の大人の方に子どもを可愛がってもらい、私達世代では教えられない様々なことを教えてもらっている事に感謝です。
保育所で覚えてくる手遊びや歌など毎日少しずつ違ったことを親や祖父たちにやってみせること。
子どもの成長していく姿を見ていて、こんなこともできるようになったとか、子育てをして元気をもらえます。
保育所に迎えに行った時に、ニコニコしながら「ママ」と駆け寄ってくる時。自分で上手に何かが出来て喜んでいるとき。子どもと一緒に並んで寝ること。
仕事が休みの日は一日中子どもと過ごすようにしています。平日は帰りが遅く一緒にいる時間が少ないため休日がとても楽しみです。子どもが出来なかったことがいつの間にかできる様になっていると、とても嬉しく思うし、日々の成長が楽しみです。
日々成長していく子どもたちの姿をはっきりと目で見れるときが、とても幸せな気持ちになります。社会のいろんな団体の中でもまれながら成長させていただいていると思います。形よりも質の良い心のサービスをお願いします。
現在3歳で振り回されている毎日ですが、何でも分かっているようで普通に同じ目線で話し、行動できる様になってきたのが嬉しいです。
日々生活している中で昨日まで出来なかったことができる様になっていたり、友達や兄弟と遊ぶことで、良いこと、悪いこと、悪い事を理解できる様に成長していること、などなど、子どもが毎日成長していることが普段は気付かないけど一番の楽しさのような気がします。
子どもの成長が見られたとき。
普段は気付かない事に子どもと一緒に遊んでいると気付くことがあったり、出来なかったことができる様になったときなど。
毎日の生活の中で人の様子を見て、その人の気持ちを感じ取って優しく接してくれたり、困っていたら助けようとしたり、小さな時には出来なかったことがどんどんできる様になって成長しているところがとてもよく分かるときなど、とても嬉しく喜びを感じます。
一緒に汗を流して遊んでいるときの子供たちの笑顔を見ていて自分も嬉しくなる。
いろいろな言葉を話し始め、新しい言葉を聞いたときは嬉しくなります。食事心配なく、わが家の息子は手がかからないほうではないでしょうか。ただ私と2人で過ごすことが多く、可哀想な思いをさせているとも思います。
笑顔と成長していく様子。
子どもの健やかな成長を見守ること。そして、子と共に親も人間として成長していけるということ。子どもの笑顔、笑い声。
成長したなあ実感したとき。
できなかったことができる様になった時に、感激します。
仕事から帰ったときにニッコリ笑顔を見せてくれることが一番の喜びです。
子どもとの会話の中でいろんな言葉を覚え、成長していることを実感すると、とても嬉しく思います。
ほんの少しのことでも子どもが今日はこれが出来た、あれができる様になったと教えてくれると、また1つ出来ることが増え成長しているなあ喜びを感じます。
子どもの成長がなによりの楽しみ。1日保育所を終えて帰ってきてから、寝るまでの子どもと過ごす時間が何より幸せな時間。勉強なんかどうでもいいけど、病気をせず、大きくなってほしいと願うばかり。保育所でも学校でも上に立つ者、先生の影響は絶大で、人選には注意し、よく見抜いてもらいたい。中間層の先生がいなくなってしまうのが心配。若い人たちだけでは不安。
日々の成長、保育所での出来事、子どもと話しているのが楽しい。成長に従って一緒に過ごす時間が減るので、今はなるべく自分で見ていたいと思っています。
できなかったことができる様になった時、成長の喜びを感じます。
日々子どもに教えられることが多い毎日です。時々不安なこともあります。家族で協力し合って生活しています。子育ては、全般的に楽しいと感じています。
自分が子育てをしていると大変だと思いますが、子どもの保育所での話などすごく楽しそうに教えてくれた時などは嬉しいです。
成長（心も体も）を感じたとき、何気ない会話、子どもの目線でものの見方を教わったとき、思いがけない優しさを感じたとき、など日常全てに喜びがあります。
子どもの成長を日々感じる。子どもを通じてママ友達との雑談。
子どもがどんどん成長していつるのを感じることは皆喜びと感じると思います。沢山の人たちに愛され、可愛がられて、のびのびと大きくなっていくのは何よりの幸せです。子育ては大変でも苦勞と思う人はいないと私は思います。共に成長し、泣いたり笑ったりして過ごせること、これは人生で一番意味のある時間だと思うから。どんなことがあっても、前向きに、家族皆で子育てしていこうと思います。

ちょっとした仕草や小さい子の面倒を見ている姿などを見ると、成長したなあとか、言葉に優しい面が出たりすると、仕事での疲れも癒されます。日々休まず成長している子どもに追い抜かれないように、努力していきたいと思います。
子どもの笑顔が見れたときや、初めて出来たときなどは、とても嬉しいです。
今の世の中、不安でいっぱいなのに、こんなこと聞くこと自体、行政側がふぬけ状態。こんなものを出す都市部の人間はいろいろな面で充実しているだろうが、田舎は何もなく、子どもが病気になったら小児科へ行くのに車で2時間もかからないと辿り着かないのだ。出産にしても車で1時間。ナショナル・ミニマムはどこへ行ってしまったのだ、考えろ！
一緒に出かけていろいろな経験をした時の子どもの嬉しそうな顔を見たり、一緒になって遊んだりしているときが私の喜びです。
日々成長していく姿を見るのはとても楽しいです。
子どもの成長。休日に行く川遊びなど。絵本の読み聞かせの時間。
子どもから感謝の言葉をもらったとき。お弁当の日に「お母さんお弁当作ってくれてありがとう」（2歳3ヶ月）何気ない一言が嬉しかった。
1日の中で成長を見つけることは難しいが、3ヶ月前、半年前、1年前と比べると成長が見えてきて、少しずつではあるが自分で出来ることが増えて、親ももうれしくなることがある。数ヶ月、数年とかかって結果は出てくるものだと思います。父親が仕事休みの日に、弁当持って外で1日遊んでくるとか、風呂入りに家族で行くとか、ささやかなことが子ども達にはうれしいようです。特別遠出をしなくても、お金をかけなくても、いつもと違う休みの日と思うだけでもうれしいようです。
保育所でいろいろ覚えてきたことを家でいっぱい教えてくれたり、女の子なので一緒におしゃべりしたりできることが楽しいです。
子どもが成長したなあと実感できたとき。笑顔が絶えないところ。
子どもの成長、笑顔、やさしさが成長と共に感じます。
日々成長している子どもを見るのが楽しみです。おしっこを教えてくれるようになったり、少しずつでも会話ができること。
子どもとの時間を沢山とって、「時間」を大切にしたい。子どもの笑顔で、毎日元気をもらっています。
日々の保育園の送り迎え、着がえ、朝食など仕事上の都合で親に任せている部分があるため、休日や毎晩一緒にいれる時間を大切にしています。会話1つ1つの中で成長を感じる事が多々あり、コミュニケーションの大事さなどを感じさせられています。
土・日・祝日は子どもと共に遊ぶのが楽しみです。
長女は絵を描くのが好きで壁に落書きをしていたことがあったのですが、今では紙に上手に画いた絵を見るのが楽しいですし、その成長が喜びでもあります。今は自分と弟のお弁当箱とおはし、スプーンを洗った後に拭いてくれます。少しずつお手伝いが出来る姿を見るのも喜ばしいです。父親が日曜日だけは丸一日休みなので、その日は家族4人でんびりと散歩したり、海に行ったりして過ごすのも楽しみです。これは私だけのことですが、息抜きに週1回水泳に行くのが楽しみです。
子どもと一緒に料理をしたりすることができるようになって、この頃は台所に立つのが楽しくなりました（手が大きくなって包丁を持てるようになりました）。文字を書けるようになって、手紙を書いてくれたり、「ママいつもありがとう」などと書いてくれると嬉しくてたまりません。
子どもが日々成長しているのを感じたとき。
・子どもの笑顔、笑い声で、喜びを感じることが出来る。 ・少しでも余裕のある時間が持てれば、子どもにも優しくなれる。時間がほしい。
子どもの成長していく姿は、日に日に違ってくるので、今日はどんなことを覚えたのか、友達が出来てその友達の名前が出たときや、どんな遊びをしたのかなど、子どもとのコミュニケーションをとっている時間は、自分も勉強させられるし、その話を聞くだけでも一日の楽しみです。
一人でも出来ることが1つでも多く増えていくと嬉しいです。具合が悪いときなど、「ママ、大丈夫？」と思いやりの心を持って接してくれるとき成長してるんだなと思います。
フルタイムで勤務。1年間の育児休暇を取得後、職場復帰（同時に認可保育園入園）。育児に関する制度が整っている職場なのに、その制度が社員にアナウンスされてなく、今現在、時短やフレックス等取得できずにいます。社会的に制度があるアピールはしても、職場内に浸透していないので取りにくい理解を得られない。会社の満足だけで、社員、特に働く女性に冷たい会社に嫌気が差しています。
子育ては大変だという人もいますが、楽しいことも沢山あります。働いているとなかなか子どもとのんびりすることも少ないのですが、親子で楽しめる場が沢山あると嬉しいです。いつも明るく笑顔でいたいのですが、そうもいってられないのが悲しいです。
成長を感じることの出来る場面に出くわしたとき。思いやりのある行動を見れたとき。子とゆっくりと過ごすことができたとき。
笑い声を聞くと癒されます。
休みの日に時間を共有し過ごすことが出来ること。日々、新しい発見があること。

子どもの何気ない成長を見るのが楽しい。また、遊びに連れて行ったときなど、本当に嬉しそうにしている姿を見ると、可愛くてたまらない。
出来なかったことができるようになったとき。抱きしめたとき。一生懸命話をしている顔を見ているとき。泣いたときに自分を求めてくれるとき。など、沢山。
2人の子どもの寝顔を見ているときが一番幸せを感じます。毎日忙しく家に帰るとバタバタで1時間2時間あっというまに経ってしまい、自分が寝るのは日付が変わってからのことが多いけど、子どもたちの寝顔に救われます。訳もなく涙がこぼれるときも、嬉しい涙に変えてくれる瞬間です。どうか、どうか、子どもたちの未来を明るいものにしてほしいと願わずにいられません。私自身、母親が仕事であまり家にいられず、子どもの頃寂しい思いをしていましたが、子ども達に同じ思いを味わせているのかと思うとやりきれなくて、子ども達がいう事を聞かなかったりすると「やっぱり母親がいつもそばにいないからかしら」と不安になったりもします。出来たらもう少し、一緒にいる時間がほしいのですが。いつになったらそんな日が来るかしら。しばらくは無理なのでせめて一緒にいるときは、精一杯愛情を注ぎたいです。
夫や子ども達が休日のとき、夫婦と子ども達だけで外出するとホツとします。家族が多いので、家にいると子育ても含めて意見が違ふと気を遣って大変です。子ども達が喜んでいと嬉しいです。
日々成長し、沢山お話ができる様になり、できることが増えてくる子どもを見るのは楽しいです。
共働きで疲れています。しかし、日曜日は子どもと思いきり遊ぶようにして、楽しみの時間を作っています。
共働きで疲れていますが、子供たちの笑顔に励まされ、私達夫婦の生きがいです。
子育ての中で大変だと感じることもありますが、子どもの笑顔は一番私達親に元気を与えてくれますね。一緒に過ごせる時間は大切な時間だと思います。
友達が出来たり、話す内容が分かってきたり、お手伝いをしてくれたり、毎日が成長しているなあと感じます。園から帰ってきて、遊んだ内容をキラキラした目で話してくれると、こっちまで楽しくなります。
子どもの笑顔を見ると、いろいろなストレスや苦しみが飛んでいきます。健康に成長していき、出来なかったことができる様になると、子どもも私も一緒に喜び、遊びも子どもの目線で一緒に遊ぶと同じく楽しめます。中2の娘は、毎日、部活と駅伝の練習に励み、タイムが速くなる度に、娘も私も喜びます。その姿を見ていると、涙が出るくらい嬉しくなり将来がとても楽しみです。
会話ができる様になったこと。お手伝いをしてくれること。元気でいてくれること。
子育てをしている中で、子どもが前の日までは使わなかった言葉を使うようになったり、出来なかったことを出来るようになったり、些細なことでも子どもの成長を感じられた時がとても楽しく、そして喜びを感じます。子どもに勉強させられ、そして親にしてもらっていることを幸せに感じながら毎日の生活を過ごしています。
成長の過程。
子どもの成長、教育、全てが楽しみです。特に悩みもありませんが、子どもの通うような小児科、皮膚科など医療機関が近くにないのが一番大変です。しかし、わが子は可愛いので、今まで一度たりとも憎いと思ったことはありません。子どもと一緒に親も成長するものだと思っています。
子どもがどんどん大きくなって、言葉など次々といろんな事を覚えて話したりするのを見ていると、嬉しく思います。
上の子どもたちと年が離れているため、じっくり子どもを見れるように思います。
子どもがいるだけで頑張れる。幸福感に浸れる。特に、労わってくれるとき涙が出そうになる。大きくなってからの触れ合いも楽しみ。
やはり子どもの成長ですね。小さい子は、日々成長していくので、イラッとする事もあるけれど、できるようになるとうれしいです。子どもから、ありがとうママ、なんて言われたときは、ギュと抱きしめたくくなります。
本当に自分の生きた喜び、そして大きくなっていく子どもを見ていると、どんな子に育つのか楽しみと不安の中にいる現在です。
子どもが習ったこと覚えたことを一生懸命に私に教えてくれたり、歌ってくれたりすると成長を感じます。辛い時、悲しい時、子どもの寝顔に癒され、励まされます。
日に日に成長していく子どもの姿に喜びを感じます。子どもがいるだけで家庭が明るく毎日が楽しいです。疲れて仕事から帰って来ても子どもの顔を見ると、気持ちが和らぐ感じです。
ちょっとした時に見せるしぐさが、愛おしくて、4歳で女の子ということもあり母親を気遣う姿が嬉しく思います。
仕事で嫌なことがあっても子どもの笑顔を見ると元気になります。親が教育不足な分、保育所の先生方のお陰で、あいさつ、礼儀など少しずつ身に付いてきてます。ありがとう、ごめんなさいがちゃんとと言える、自分の主張も出来るようになり、とても成長した姿を見ると嬉しく思います。
子どもがどのように成長するのか楽しみ。日に日にいろいろな言葉が自然に出てくるのが楽しみ。
出来なかったことが出来るようになる、小さな発見が楽しみです。
出来なかったことが出来るようになったとき、嬉しそうに目をキラキラさせて話す姿を見ていてとても嬉しく思います。話す言葉も自分の思っていることもだんだん多く喋れるようになってきたので、毎日話を聞くのが楽しみです。
日々の成長

やはり子どもの笑顔、スキンシップは子どもだけではなく、親も癒され元気がもらえます。日々成長している姿はこの上ない喜びを感じます。ただ今の時代、専業主婦では暮らせない時代だと思います。土・日・祝の保育の希望ができればと思います。
毎日の生活の中での何気ない会話や出来事。特別なことはなくても、皆健康で笑って暮らせるのが一番です。
わが子の成長していく姿は、1つ1つ些細なことでもやはり感動ものです。そんな姿を見て、自分も頑張らなくてはいけません。イライラすることも多々ありますが、子どもの何気ない言葉にドキッとさせられたり、なんてきれいな表現なんだろうと驚いたり。意識して子どもを見つめていると、様々なことを発見できます。それが今の私の趣味です。
子どもの楽しい笑い声、笑顔を見ているときとても幸せな気分。いろいろと保育所などで良い事も悪い事もだけど、見て聞いて学んでるんだなあと思うとき喜ばしい。
知らないうちに、新しいことを覚えてくれることや、覚えてくれたことを周囲へ教えてくれたり、優しく接することの大切さを身をもって感じられること。子どもを育てていて、小さな事に気付く様になりました。
日中は大変なのでイライラすることもあります。夕食時に一日のことを報告してくれ、皆で笑い合える事に幸せを感じます。
男の子2人、年子の母ですが、毎日怒りながら生活する中で、見せてくれる気遣い、優しさなどにホッとします。手探り状態ですが、頑張りたいと思います。
子育ての喜びですが、私が作った食事を「おいしいよ」と言って、食べてくれるときに私自身とても嬉しくなります。
保育所での生活を楽しく話してくれたり、先生から様子を聞いていると、楽しく仲間と過ごしているようで嬉しく思います。やはり、健康で毎日楽しくしている姿を見るのがとても嬉しいです。
子どもを通しての新しい発見。
子どもの全てにおいての成長（体、心、言葉、行動など）を日に日に成長していく姿を見ていることが楽しみであり喜びを感じます。
普通に会話できるようになり、コミュニケーションが楽しいです。
子どもの成長ですね。いつの間にこんなことができる様になったのとか、絵がうまくなっているとか、保育所での出来事をコニコしながら話してくれる、そんな娘を見るのが毎日の楽しみです。
笑顔で遊んでいるとき。
子ども1人1人の成長は勿論のこと、子どもとの他愛もない会話だったり、親の気づかぬ間にハッとするような発言や行動をしたとき、親としての楽しみや喜びを感じます。子が大きくなればなる程、成長していく姿が楽しみや喜びなんだと日々痛感します!!
子どもの笑顔、成長。